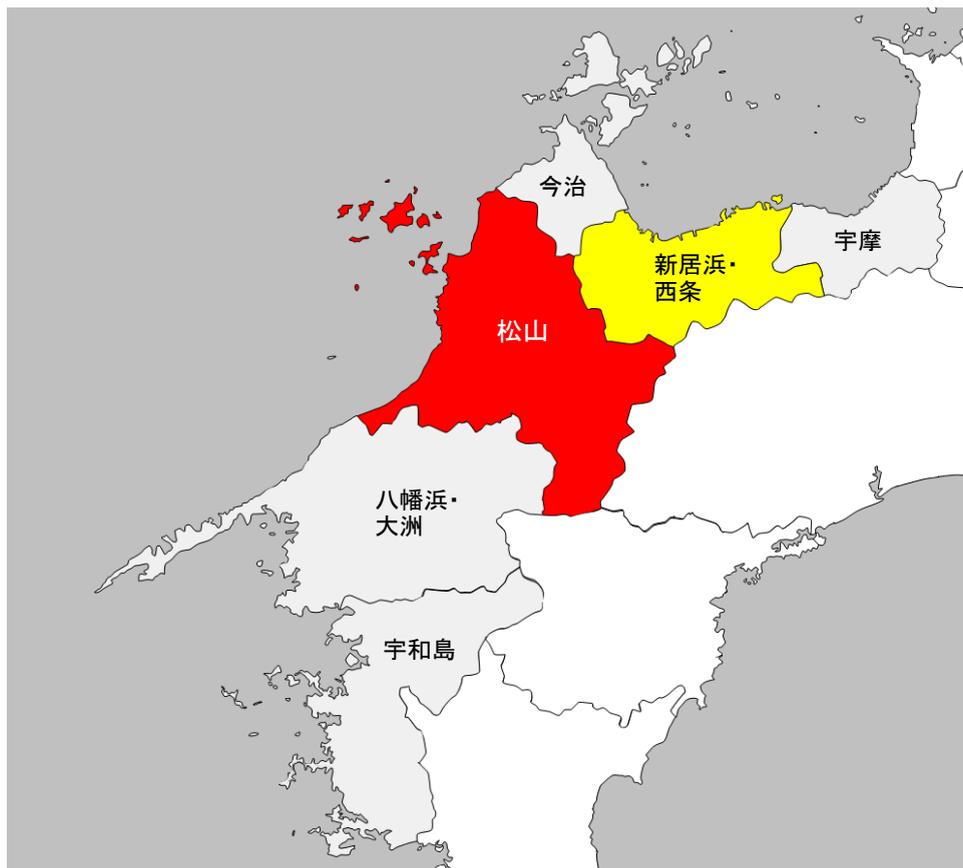


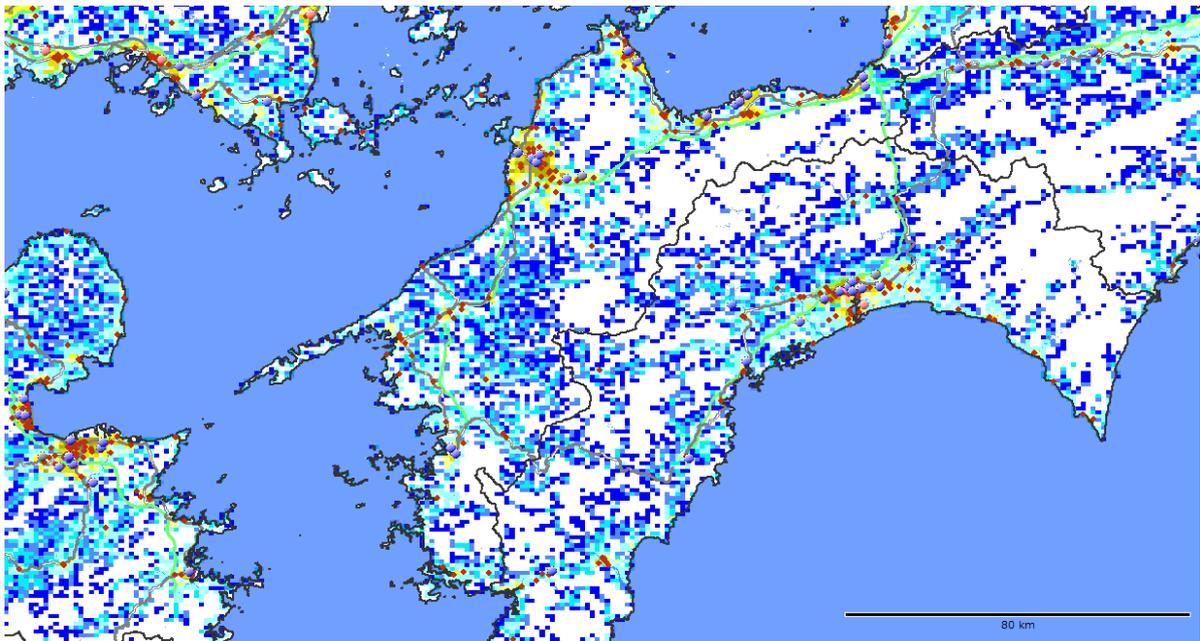
# 38. 愛媛県



目次

愛媛県	38	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	38	-	8
1. 宇摩医療圏	38	-	20
2. 新居浜・西条医療圏	38	-	25
3. 今治医療圏	38	-	30
4. 松山医療圏	38	-	35
5. 八幡浜・大洲医療圏	38	-	40
6. 宇和島医療圏	38	-	45

# 38. 愛媛県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)

1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (愛媛県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 愛媛県は、総人口約1,385千人(2015年)、面積5,676km<sup>2</sup>、人口密度は244人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 愛媛県の総人口は2025年に1,274千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に1,081千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の217千人が、2025年にかけて265千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には262千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 愛媛県の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値57)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 愛媛県の一人当たり急性期医療密度指数は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は1.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が52(病院医師数51、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 愛媛県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26,186人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が13,141床(偏差値49)、高齢者住宅等が13,045床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、19,463人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム49、軽費ホーム55、グループホーム70、サ高住57である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,996人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

愛媛県の総人口は、2005年1,467,815人が、2015年に1,385,262人と6%減少し、2025年の人口が1,274,128人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

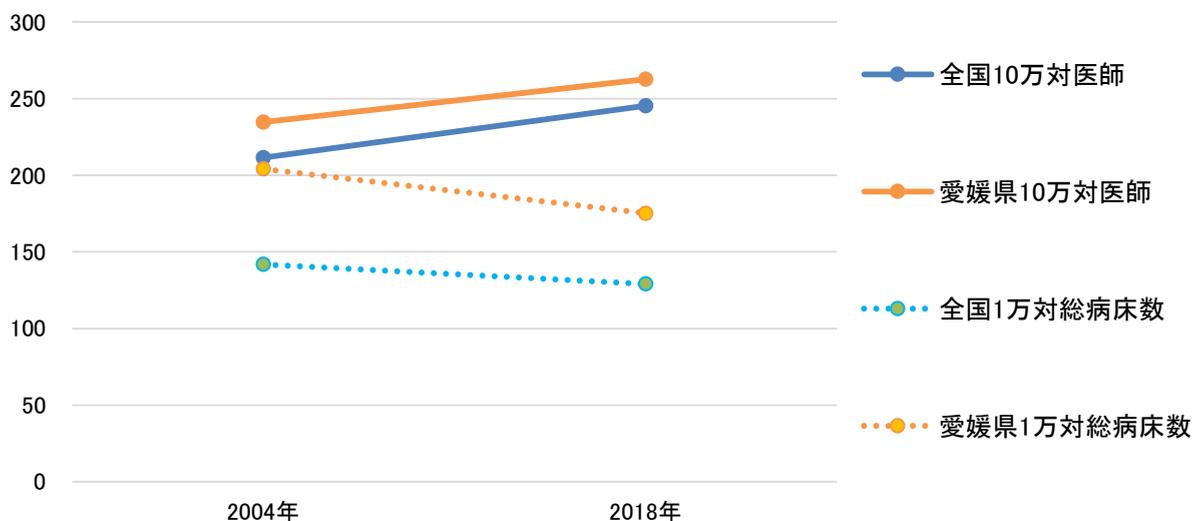
2004年の病院数が155(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に141(人口10万人当たり10.2病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、14年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が1,209(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に1,244(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、35診療所が増加した。

2004年の総病床数が29,963床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に24,278床(人口1万人当たり175(全国平均129)偏差値59)と、5,685床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

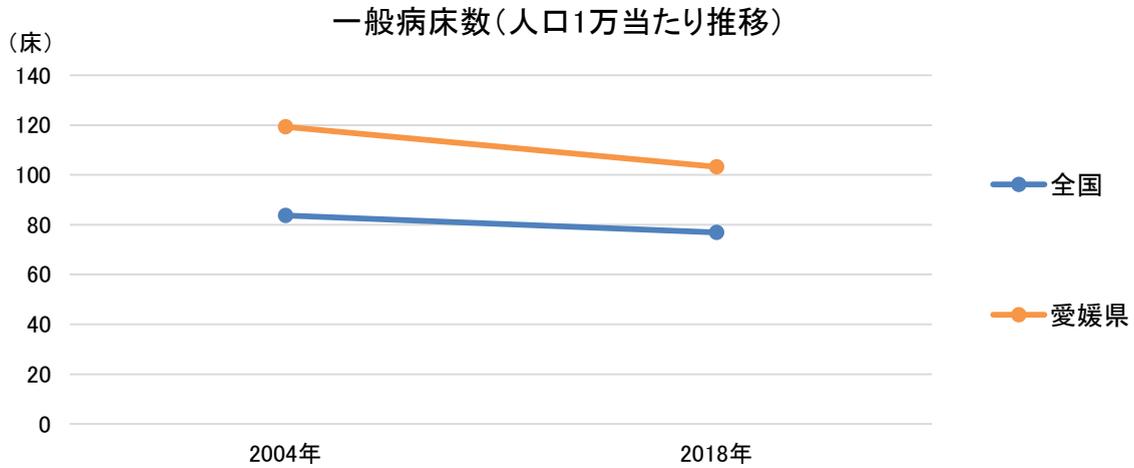
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,444人(人口10万人当たり235人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2018年に3,640人(人口10万人当たり263人(全国平均245人)偏差値52)と、196人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



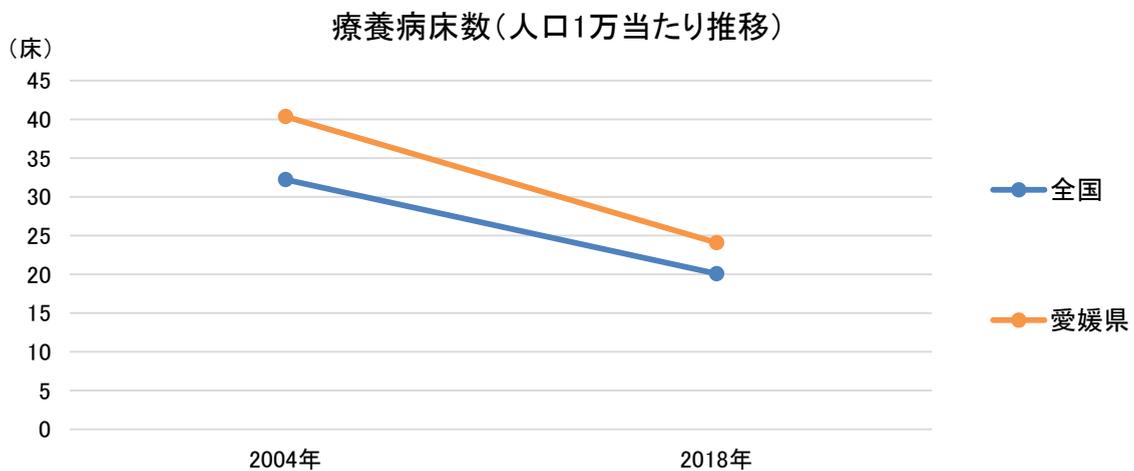
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17,519床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2018年に14,303床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、3,216床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



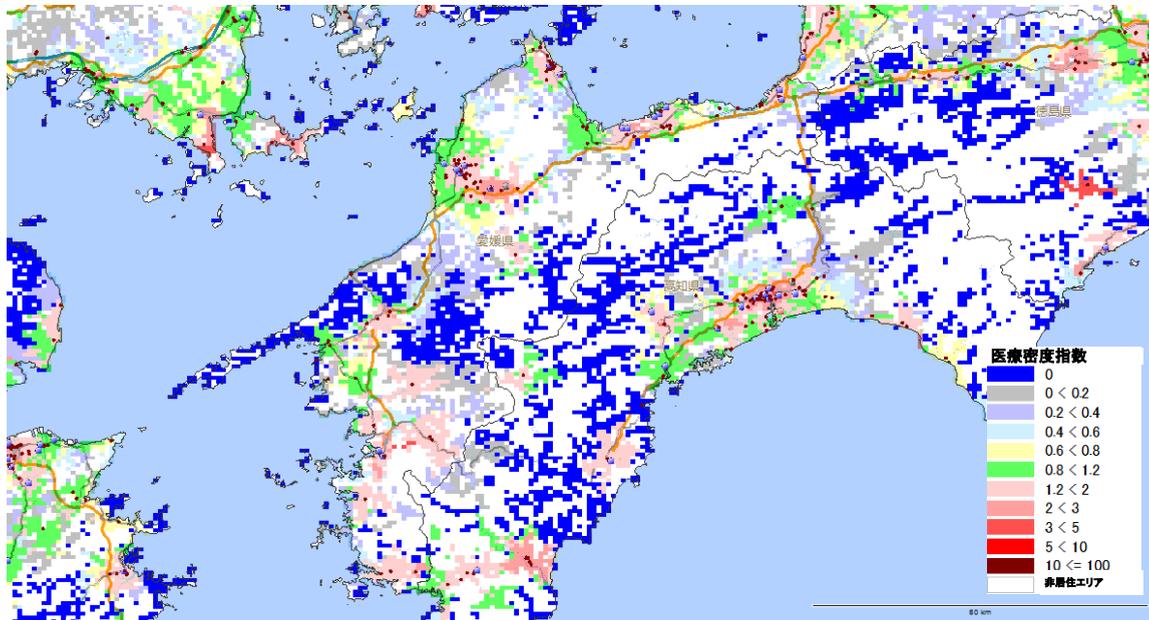
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が7,016床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2018年に5,222床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均20)偏差値54)と、1794床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



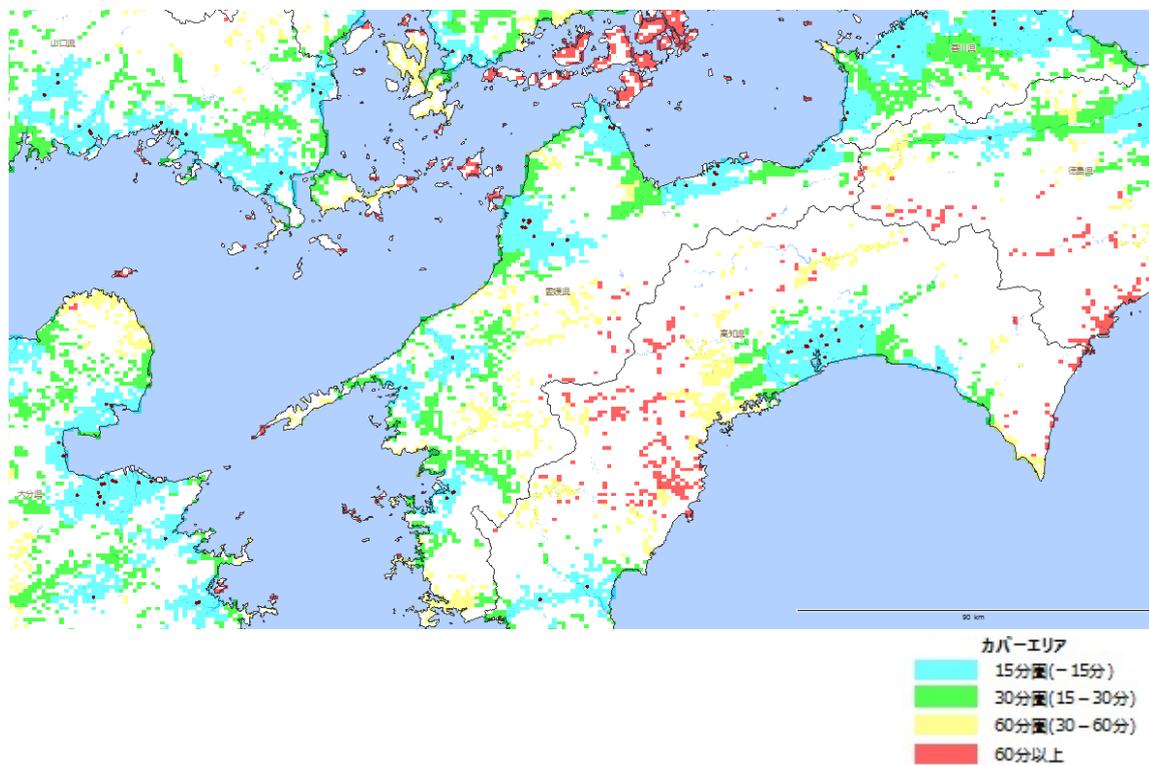
## (愛媛県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 38-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
愛媛県	1,385	28位	5,676	26位	244.1		31%	1,274	1,081	217	265	262	-8%	-15%	22%	-1%
宇摩	87	6%	421	7%	207.5	地方都市型	30%	81	68	14	17	17	-7%	-16%	21%	0%
新居浜・西条	228	16%	744	13%	306.4	地方都市型	31%	214	186	36	44	43	-6%	-13%	22%	-2%
今治	165	12%	450	8%	367.6	地方都市型	34%	145	114	28	34	29	-12%	-21%	21%	-15%
松山	646	47%	1,541	27%	419.3	地方都市型	27%	621	560	85	114	124	-4%	-10%	34%	9%
八幡浜・大洲	144	10%	1,473	26%	98.0	過疎地域型	38%	120	87	31	32	28	-17%	-28%	3%	-13%
宇和島	114	8%	1,047	18%	109.0	過疎地域型	38%	94	65	23	25	22	-18%	-31%	9%	-12%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 38-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
愛媛県	1.25	1.45	22,317	21,459	3.8%
宇摩	1.01	1.43	1,171	1,316	-12.4%
新居浜・西条	1.24	1.95	3,475	3,542	-1.9%
今治	0.86	1.34	2,546	2,783	-9.3%
松山	1.47	1.98	10,034	9,125	9.1%
八幡浜・大洲	0.69	1.10	3,109	2,612	16.0%
宇和島	1.57	1.25	1,982	2,081	-5.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資\_図表 38-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
愛媛県	388	57	1.048	164	58	1.137	200	55	1.001	289	60
宇摩	440	69	1.124	203	71	1.327	212	62	1.002	329	72
新居浜・西条	409	62	1.086	189	66	1.284	197	53	0.965	282	58
今治	381	56	1.025	160	57	1.105	199	54	0.991	273	55
松山	385	57	1.057	155	55	1.093	205	58	1.043	292	61
八幡浜・大洲	389	58	1.023	167	59	1.121	200	55	0.976	285	59
宇和島	348	48	0.931	146	52	0.999	180	43	0.892	295	62
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 38-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
愛媛県	946	51	1.003	493	53	1.030	425	49	0.988
宇摩	965	53	1.020	527	56	1.094	409	45	0.949
新居浜・西条	952	52	1.006	526	56	1.092	396	42	0.920
今治	961	53	1.009	517	55	1.073	414	46	0.950
松山	977	54	1.040	485	52	1.019	462	59	1.074
八幡浜・大洲	921	49	0.972	484	52	0.994	416	47	0.974
宇和島	823	41	0.867	431	47	0.890	369	35	0.858
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 38-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
愛媛県	141	1.7%	10.2	59	1,244	1.2%	90	55
宇摩	9	6%	10.3	59	55	4%	63	41
新居浜・西条	22	16%	9.6	58	179	14%	78	49
今治	30	21%	18.2	79	119	10%	72	46
松山	52	37%	8.0	54	606	49%	94	57
八幡浜・大洲	16	11%	11.1	61	167	13%	116	69
宇和島	12	9%	10.5	60	118	9%	103	62
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 38-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
愛媛県	1,244	1.2%	90	55	1,083	1.1%	78	52	161	2.3%	11.6	61
宇摩	55	4%	63	41	51	5%	58	41	4	2%	4.6	48
新居浜・西条	179	14%	78	49	165	15%	72	49	14	9%	6.1	51
今治	119	10%	72	46	99	9%	60	42	20	12%	12.1	62
松山	606	49%	94	57	509	47%	79	52	97	60%	15.0	67
八幡浜・大洲	167	13%	116	69	155	14%	107	67	12	7%	8.3	55
宇和島	118	9%	103	62	104	10%	91	59	14	9%	12.3	62
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 38-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
愛媛県	21,794	1.4%	1,573	57	2,484	2.6%	179	61	24,278	1.5%	1,753	59
宇摩	1,365	6%	1,562	57	74	3%	85	51	1,439	6%	1,646	57
新居浜・西条	4,127	19%	1,809	62	227	9%	100	53	4,354	18%	1,909	62
今治	2,424	11%	1,467	55	253	10%	153	59	2,677	11%	1,620	56
松山	9,617	44%	1,489	56	1,494	60%	231	67	11,111	46%	1,720	58
八幡浜・大洲	2,207	10%	1,529	57	198	8%	137	57	2,405	10%	1,666	57
宇和島	2,054	9%	1,799	62	238	10%	209	65	2,292	9%	2,008	64
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 38-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
愛媛県	12,093	1.4%	873	58	4,948	1.5%	357	55	4,671	1.4%	337	54
宇摩	594	5%	680	49	405	8%	463	61	362	8%	414	57
新居浜・西条	2,151	18%	943	61	755	15%	331	54	1,196	26%	524	63
今治	1,269	10%	768	53	808	16%	489	62	343	7%	208	48
松山	5,590	46%	865	57	2,051	41%	317	53	1,948	42%	302	52
八幡浜・大洲	1,010	8%	700	50	641	13%	444	60	544	12%	377	56
宇和島	1,479	12%	1,296	77	288	6%	252	50	278	6%	244	49
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 38-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
愛媛県	1,121	1.4%	81	54	694	0.9%	50	48
宇摩	80	7%	92	56	53	8%	61	50
新居浜・西条	162	14%	71	52	135	19%	59	50
今治	72	6%	44	46	69	10%	42	47
松山	641	57%	99	58	295	43%	46	48
八幡浜・大洲	90	8%	62	50	104	15%	72	51
宇和島	76	7%	67	51	38	5%	33	46
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 38-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
愛媛県	6,694	6,222	273	14,628	5,762	4,432	51.9%	53	5.8%	50
宇摩	345	299	0	1,020	299	405	50.0%	52	0.0%	48
新居浜・西条	847	824	0	3,073	1,228	695	40.2%	48	0.0%	48
今治	511	461	0	1,792	813	686	36.2%	47	0.0%	48
松山	3,078	2,983	30	6,471	2,604	1,985	53.4%	53	1.5%	48
八幡浜・大洲	648	588	50	1,502	404	571	59.3%	56	8.1%	51
宇和島	1,265	1,067	193	770	414	90	72.0%	60	68.2%	78
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 38-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
愛媛県	21,396	1.0%	1,545	48	10,920	1.2%	788	52
宇摩	1,008	5%	1,153	43	216	2%	247	32
新居浜・西条	2,604	12%	1,142	43	2,088	19%	915	57
今治	1,368	6%	828	39	996	9%	603	45
松山	14,604	68%	2,260	56	5,724	52%	886	56
八幡浜・大洲	672	3%	466	34	924	8%	640	47
宇和島	1,140	5%	999	41	972	9%	852	55
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 38-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
愛媛県	3,640	1.2%	263	52	2,392	1.1%	173	51	1,248	1.2%	90	54
宇摩	149	4%	170	42	93	4%	106	42	56	4%	64	43
新居浜・西条	437	12%	192	44	279	12%	122	44	158	13%	69	45
今治	319	9%	193	44	208	9%	126	45	111	9%	67	44
松山	2,201	60%	341	60	1,515	63%	235	60	686	55%	106	60
八幡浜・大洲	268	7%	186	43	126	5%	87	40	142	11%	98	57
宇和島	266	7%	233	49	171	7%	150	48	95	8%	83	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 38-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
愛媛県	331	1.1%	23.9	51	157	1.1%	11.3	51	124	1.1%	9.0	50
宇摩	12	4%	13.7	42	5	3%	5.7	39	9	7%	10.3	53
新居浜・西条	38	11%	16.7	45	18	11%	7.9	44	16	13%	7.0	45
今治	29	9%	17.5	45	16	10%	9.7	47	11	9%	6.7	44
松山	202	61%	31.3	57	97	62%	15.0	58	74	60%	11.5	56
八幡浜・大洲	29	9%	20.1	48	11	7%	7.6	43	5	4%	3.5	37
宇和島	21	6%	18.4	46	10	6%	8.8	45	9	7%	7.9	48
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 38-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
愛媛県	63	1.1%	4.5	50	119	1.2%	8.6	52	107	1.4%	7.7	56
宇摩	1	2%	1.1	35	7	6%	8.0	51	3	3%	3.4	41
新居浜・西条	7	11%	3.1	44	14	12%	6.1	45	17	16%	7.5	56
今治	10	16%	6.1	57	10	8%	6.1	45	8	7%	4.8	46
松山	41	65%	6.3	58	69	58%	10.7	59	67	63%	10.4	66
八幡浜・大洲	2	3%	1.4	36	10	8%	6.9	47	7	7%	4.9	46
宇和島	2	3%	1.8	38	9	8%	7.9	50	5	5%	4.4	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 38-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
愛媛県	98	1.0%	7.1	49	259	1.2%	18.7	52	214	1.3%	15.4	55
宇摩	4	4%	4.6	42	11	4%	12.6	43	12	6%	13.7	51
新居浜・西条	12	12%	5.3	44	30	12%	13.2	44	27	13%	11.8	47
今治	7	7%	4.2	41	28	11%	16.9	50	17	8%	10.3	44
松山	60	61%	9.3	55	163	63%	25.2	61	119	56%	18.4	61
八幡浜・大洲	10	10%	6.9	48	14	5%	9.7	39	18	8%	12.5	48
宇和島	5	5%	4.4	41	13	5%	11.4	42	21	10%	18.4	61
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 38-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
愛媛県	95	1.5%	6.9	59	94	1.3%	6.8	55	104	1.7%	7.5	59
宇摩	0	0%	0	28	1	1%	1.1	32	4	4%	4.6	50
新居浜・西条	14	15%	6.1	56	16	17%	7.0	56	15	14%	6.6	56
今治	10	11%	6.1	55	9	10%	5.4	50	13	13%	7.9	60
松山	58	61%	9.0	69	57	61%	8.8	64	66	63%	10.2	68
八幡浜・大洲	7	7%	4.9	50	7	7%	4.9	47	2	2%	1.4	40
宇和島	6	6%	5.3	52	4	4%	3.5	42	4	4%	3.5	46
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 38-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
愛媛県	84	1.1%	6.1	51	22	1.3%	1.6	53	37	0.9%	2.7	47
宇摩	1	1%	1.1	36	1	5%	1.1	48	0	0%	0	34
新居浜・西条	7	8%	3.1	42	5	23%	2.2	59	2	5%	0.9	38
今治	3	4%	1.8	38	1	5%	0.6	43	0	0%	0	34
松山	67	80%	10.4	64	13	59%	2.0	57	31	84%	4.8	57
八幡浜・大洲	2	2%	1.4	37	0	0%	0	37	1	3%	0.7	37
宇和島	4	5%	3.5	43	2	9%	1.8	54	3	8%	2.6	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 38-18 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
愛媛県	26	1.2%	1.9	51	25	0.9%	1.8	47
宇摩	2	8%	2.3	54	0	0%	0	35
新居浜・西条	3	12%	1.3	47	1	4%	0.4	38
今治	1	4%	0.6	41	3	12%	1.8	48
松山	17	65%	2.6	57	15	60%	2.3	51
八幡浜・大洲	1	4%	0.7	42	1	4%	0.7	40
宇和島	2	8%	1.8	50	5	20%	4.4	65
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 38-19 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
愛媛県	16,163	1.4%	1,167	59	12,548	1.4%	906	58	3,616	1.6%	261	62
宇摩	800	5%	915	50	637	5%	729	50	163	5%	186	51
新居浜・西条	2,566	16%	1,125	58	2,146	17%	941	59	421	12%	184	51
今治	1,824	11%	1,104	57	1,429	11%	865	56	395	11%	239	59
松山	8,039	50%	1,244	62	6,109	49%	946	59	1,929	53%	299	67
八幡浜・大洲	1,579	10%	1,094	57	1,149	9%	796	53	429	12%	298	67
宇和島	1,356	8%	1,188	60	1,078	9%	944	59	278	8%	244	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 38-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
愛媛県	1,985	1.4%	143	56	2,970	1.0%	214	47
宇摩	139	7%	159	59	156	5%	178	44
新居浜・西条	284	14%	125	53	428	14%	188	44
今治	233	12%	141	56	315	11%	191	45
松山	971	49%	150	57	1,620	55%	251	51
八幡浜・大洲	223	11%	154	58	244	8%	169	43
宇和島	135	7%	118	51	207	7%	181	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 38-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
愛媛県	200	1.4%	0.9	51	25	1.7%	0.1	53	153	1.3%	0.7	50
宇摩	6	3%	0.4	40	0	0%	0	37	8	5%	0.6	45
新居浜・西条	22	11%	0.6	44	2	8%	0.1	45	18	12%	0.5	41
今治	15	8%	0.5	42	4	16%	0.1	57	11	7%	0.4	36
松山	111	56%	1.3	59	17	68%	0.2	65	84	55%	1.0	62
八幡浜・大洲	30	15%	1.0	52	2	8%	0.1	46	13	8%	0.4	37
宇和島	16	8%	0.7	46	0	0%	0	37	19	12%	0.8	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 38-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
愛媛県	26,186	1.5%	121	59	13,141	1.3%	61	49	13,045	1.8%	60	60
宇摩	1,504	6%	111	53	880	7%	65	53	624	5%	46	51
新居浜・西条	3,940	15%	110	53	2,344	18%	65	53	1,596	12%	44	50
今治	2,792	11%	101	47	1,838	14%	67	54	954	7%	35	44
松山	12,360	47%	145	73	4,694	36%	55	45	7,666	59%	90	79
八幡浜・大洲	3,253	12%	106	50	1,962	15%	64	52	1,291	10%	42	49
宇和島	2,337	9%	101	47	1,423	11%	61	50	914	7%	39	47
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 38-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
愛媛県	5,272	1.4%	24	53	7,108	1.2%	33	47	761	1.5%	3.5	51
宇摩	347	7%	26	55	428	6%	32	46	105	14%	7.7	62
新居浜・西条	816	15%	23	50	1,481	21%	41	56	47	6%	1.3	45
今治	823	16%	30	62	828	12%	30	44	187	25%	6.8	59
松山	1,868	35%	22	49	2,436	34%	28	43	390	51%	4.6	54
八幡浜・大洲	903	17%	29	61	1,027	14%	33	47	32	4%	1.0	44
宇和島	515	10%	22	49	908	13%	39	53	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 38-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		県内	シェア				県内	シェア				県内	シェア		
全国	240,971			14.8	(10.9)	23,545			1.4	(2.1)	204,406			12.5	(5.7)
愛媛県	3,030	1.3%		14.0	49	548	2.3%		2.5	55	5,156	2.5%		23.8	70
宇摩	0	0%		0	36	110	20%		8.1	81	181	4%		13.3	51
新居浜・西条	221	7%		6.2	42	30	5%		0.8	47	880	17%		24.5	71
今治	116	4%		4.2	40	88	16%		3.2	58	504	10%		18.2	60
松山	2,274	75%		26.6	61	260	47%		3.0	58	2,470	48%		28.9	79
八幡浜・大洲	261	9%		8.5	44	60	11%		1.9	52	743	14%		24.1	70
宇和島	158	5%		6.8	43	0	0%		0	43	378	7%		16.3	57
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの														

資\_図表 38-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	サ高住(特定施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	サ高住(非特定施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		県内	シェア				県内	シェア				県内	シェア		
全国	245,678			15.1	(7.4)	25,821			1.6	(1.9)	219,857			13.5	(7.1)
愛媛県	4,311	1.8%		19.9	57	442	1.7%		2.0	52	3,869	1.8%		17.9	56
宇摩	333	8%		24.5	63	0	0%		0	42	333	9%		24.5	66
新居浜・西条	465	11%		13.0	47	0	0%		0	42	465	12%		13.0	49
今治	246	6%		8.9	42	0	0%		0	42	246	6%		8.9	44
松山	2,662	62%		31.1	72	336	76%		3.9	62	2,326	60%		27.2	69
八幡浜・大洲	227	5%		7.4	40	83	19%		2.7	56	144	4%		4.7	38
宇和島	378	9%		16.3	52	23	5%		1.0	47	355	9%		15.3	53
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計					令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 38-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア		75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		県内	シェア				県内	シェア				県内	シェア		
全国	174,893			10.7	(2.2)	119,205			7.3	(1.9)	55,688			3.4	(1.2)
愛媛県	2,500	1.4%		11.5	54	1,825	1.5%		8.4	56	676	1.2%		3.1	47
宇摩	189	8%		13.9	65	147	8%		10.8	69	42	6%		3.1	48
新居浜・西条	327	13%		9.1	43	258	14%		7.2	49	70	10%		1.9	37
今治	317	13%		11.5	53	262	14%		9.5	61	56	8%		2.0	38
松山	1,178	47%		13.8	64	790	43%		9.2	60	388	57%		4.5	60
八幡浜・大洲	282	11%		9.1	43	229	13%		7.4	51	52	8%		1.7	35
宇和島	208	8%		9.0	42	140	8%		6.0	43	68	10%		2.9	46
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの														

資\_図表 38-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
愛媛県	22,460	1.5%	104	60	19,463	1.5%	90	60	2,996	1.4%	13.8	51
宇摩	1,463	7%	108	63	1,297	7%	96	65	165	6%	12.2	48
新居浜・西条	3,624	16%	101	57	3,202	16%	89	59	423	14%	11.8	47
今治	2,632	12%	95	52	2,327	12%	84	55	304	10%	11.0	45
松山	9,695	43%	113	68	8,167	42%	96	65	1,527	51%	17.9	58
八幡浜・大洲	2,845	13%	92	50	2,615	13%	85	55	230	8%	7.5	39
宇和島	2,201	10%	95	52	1,855	10%	80	51	346	12%	14.9	53

出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 38-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
愛媛県	21,598	1.8%	100	57	6,381	1.2%	29	47	13,775	1.2%	64	48
宇摩	421	2%	31	37	219	3%	16	37	1,010	7%	74	53
新居浜・西条	1,653	8%	46	42	690	11%	19	40	2,092	15%	58	46
今治	775	4%	28	37	320	5%	12	34	1,824	13%	66	49
松山	15,269	71%	179	79	3,903	61%	46	58	6,297	46%	74	52
八幡浜・大洲	2,280	11%	74	50	509	8%	17	38	1,146	8%	37	37
宇和島	1,200	6%	52	43	740	12%	32	49	1,406	10%	61	47

出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 38-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
愛媛県		1,467,815	1,385,262	-6%	1,274,128	-13%	6%	1%	7%
宇摩	地方都市型	92,854	87,413	-6%	80,618	-13%	6%	1%	7%
新居浜・西条	地方都市型	237,323	228,077	-4%	213,567	-10%	7%	2%	8%
今治	地方都市型	182,081	165,249	-9%	145,387	-20%	3%	-3%	0%
松山	地方都市型	653,642	646,055	-1%	620,887	-5%	12%	6%	19%
八幡浜・大洲	過疎地域型	168,713	144,324	-14%	120,111	-29%	-5%	-9%	-13%
宇和島	過疎地域型	133,202	114,144	-14%	93,558	-30%	-2%	-8%	-10%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)  
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。

資\_図表 38-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
愛媛県	155	10.6	59	141	10.2	59	-14	-9%
宇摩	9	9.7	57	9	10.3	59	0	0%
新居浜・西条	22	9.3	56	22	9.6	58	0	0%
今治	33	18.1	79	30	18.2	79	-3	-9%
松山	58	8.9	55	52	8.0	54	-6	-10%
八幡浜・大洲	19	11.3	61	16	11.1	61	-3	-16%
宇和島	14	10.5	59	12	10.5	60	-2	-14%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 38-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
愛媛県	1,209	82	53	1,244	90	55	35	3%
宇摩	57	61	43	55	63	41	-2	-4%
新居浜・西条	189	80	52	179	78	49	-10	-5%
今治	120	66	45	119	72	46	-1	-1%
松山	531	81	53	606	94	57	75	14%
八幡浜・大洲	176	104	64	167	116	69	-9	-5%
宇和島	136	102	63	118	103	62	-18	-13%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 38-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
愛媛県	3,444	235	53	3,640	263	52	196	6%
宇摩	166	179	46	149	170	42	-17	-10%
新居浜・西条	517	218	51	437	192	44	-80	-15%
今治	321	176	46	319	193	44	-2	-1%
松山	1,838	281	58	2,201	341	60	363	20%
八幡浜・大洲	316	187	47	268	186	43	-48	-15%
宇和島	286	215	50	266	233	49	-20	-7%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 38-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
愛媛県	29,963	204	61	24,278	175	59	-5,685	-19%
宇摩	1,740	187	58	1,439	165	57	-301	-17%
新居浜・西条	5,250	221	64	4,354	191	62	-896	-17%
今治	3,231	177	56	2,677	162	56	-554	-17%
松山	13,213	202	61	11,111	172	58	-2,102	-16%
八幡浜・大洲	3,292	195	60	2,405	167	57	-887	-27%
宇和島	3,237	243	68	2,292	201	64	-945	-29%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 38-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
愛媛県	17,519	119	63	14,303	103	60	-3,216	-18%
宇摩	959	103	57	656	75	49	-303	-32%
新居浜・西条	2,807	118	62	2,356	103	60	-451	-16%
今治	1,900	104	57	1,522	92	56	-378	-20%
松山	8,058	123	64	6,927	107	62	-1,131	-14%
八幡浜・大洲	1,663	99	55	1,180	82	52	-483	-29%
宇和島	2,132	160	77	1,662	146	77	-470	-22%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 38-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

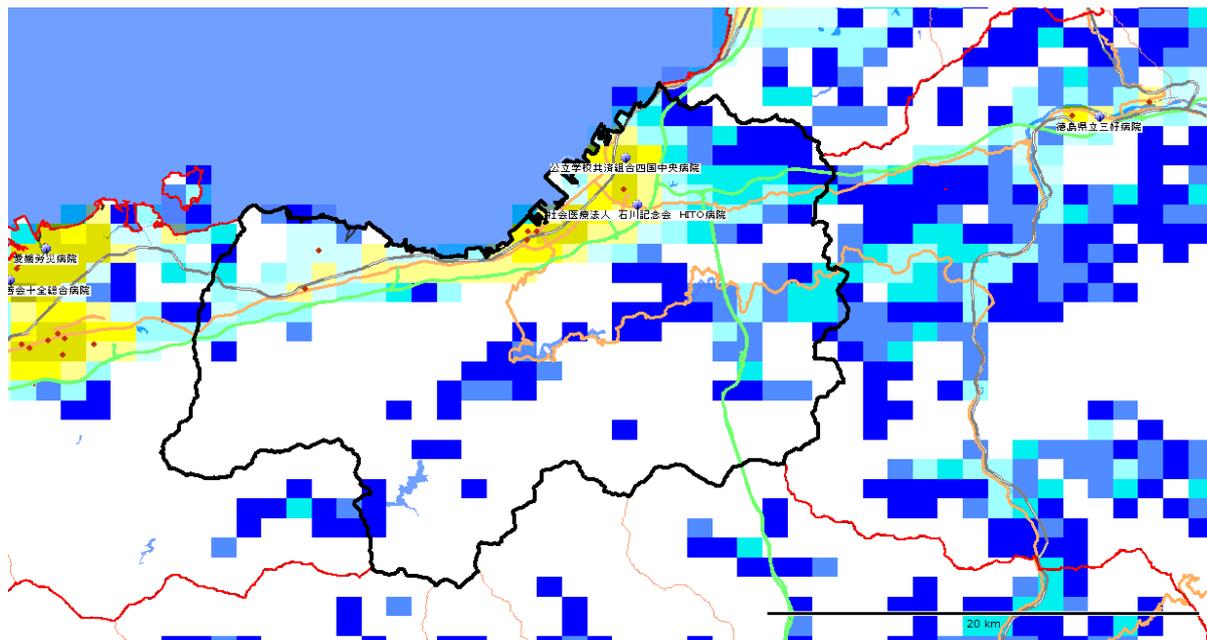
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
愛媛県	7,016	40	55	5,222	24	54	-1,794	-26%
宇摩	399	37	53	417	31	60	18	5%
新居浜・西条	1,055	36	52	777	22	51	-278	-26%
今治	934	40	54	808	29	58	-126	-13%
松山	3,098	50	60	2,208	26	55	-890	-29%
八幡浜・大洲	914	33	50	669	22	51	-245	-27%
宇和島	616	30	49	343	15	45	-273	-44%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 38-1. <sup>う</sup><sup>ま</sup>宇摩医療圏

構成市区町村 [四国中央市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (宇摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 宇摩(四国中央市)は、総人口約87千人(2015年)、面積421km<sup>2</sup>、人口密度は208人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 宇摩の総人口は2025年に81千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に68千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 宇摩の一人当たり医療費(国保)は440千円(偏差値69)、介護給付費は329千円(偏差値72)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 宇摩の一人当たり急性期医療密度指数は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数は1.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。宇摩には、年間全身麻酔件数が500例以上の四国中央病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 宇摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,504人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が880床(偏差値53)、高齢者住宅等が624床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,297人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設62、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム81、グループホーム51、サ高住63である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、165人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (宇摩医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

宇摩医療圏の総人口は、2005年92,854人が、2015年に87,413人と6%減少し、2025年の人口が80,618人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

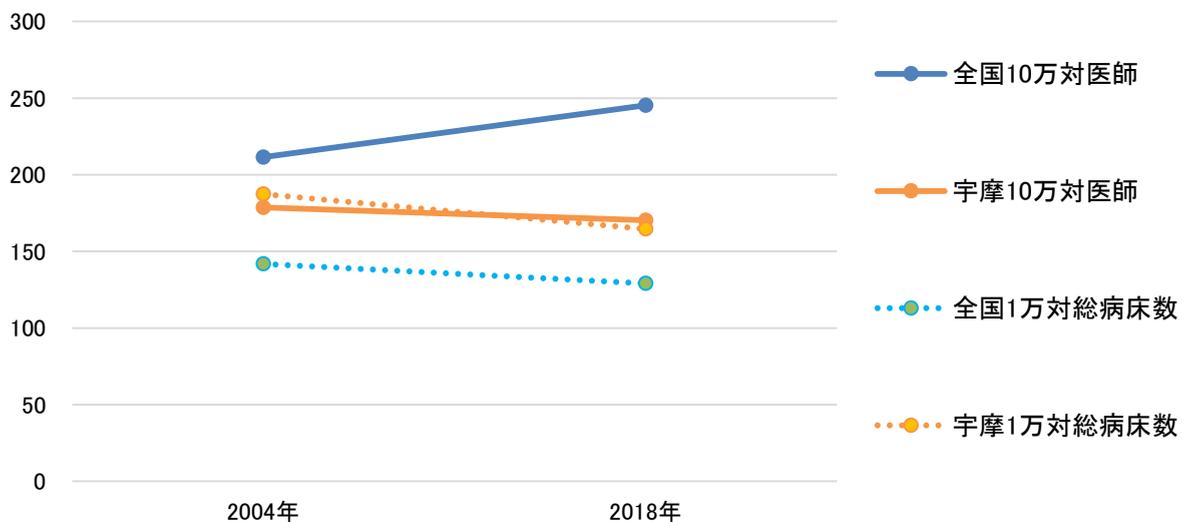
2004年の病院数が9(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2018年に9(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が57(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に55(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,740床(人口1万人当たり187(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に1,439床(人口1万人当たり165(全国平均129)偏差値57)と、301床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

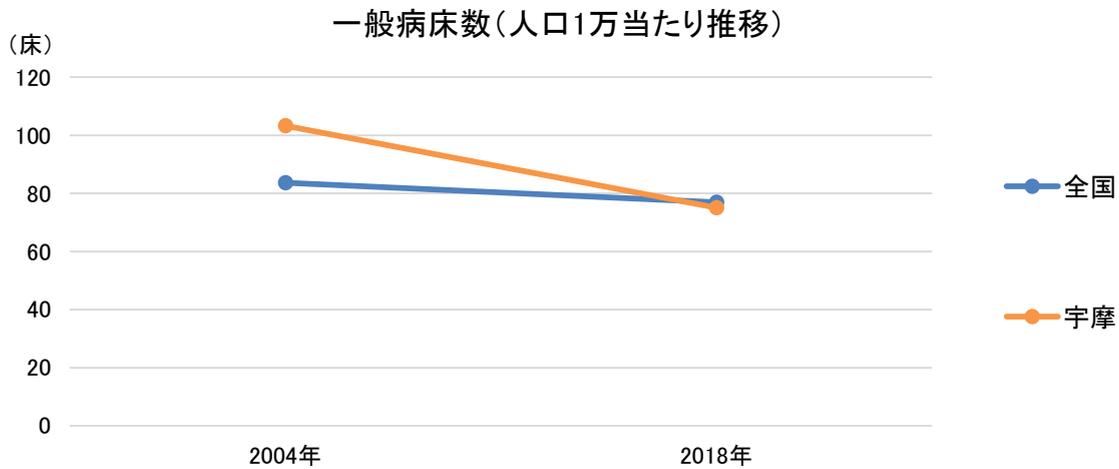
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が166人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に149人(人口10万人当たり170人(全国平均245人)偏差値42)と、17人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



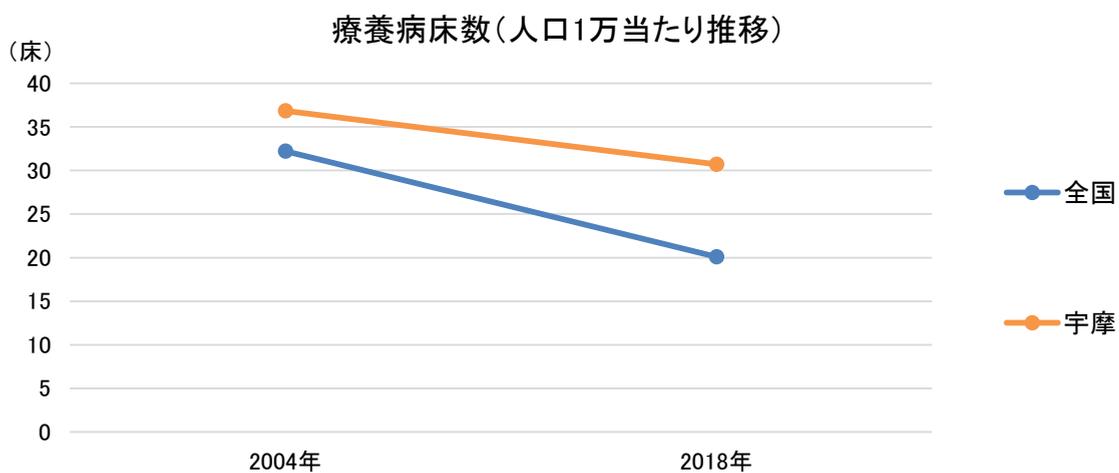
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が959床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に656床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、303床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



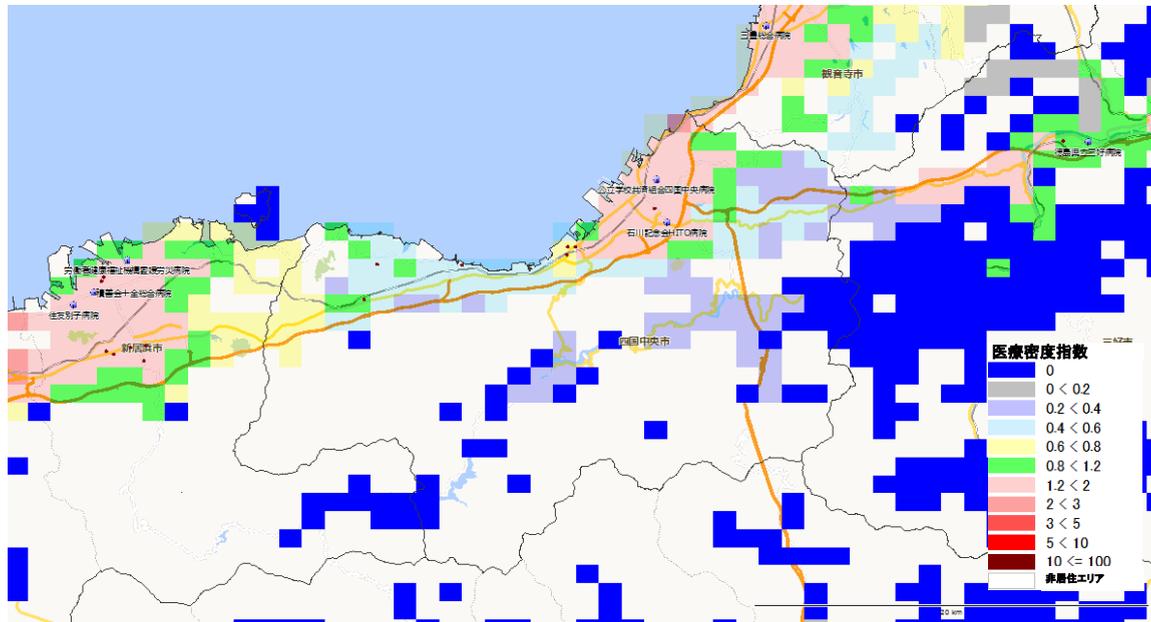
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が399床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2018年に417床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均20)偏差値60)と、18床の増加、率にして5%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



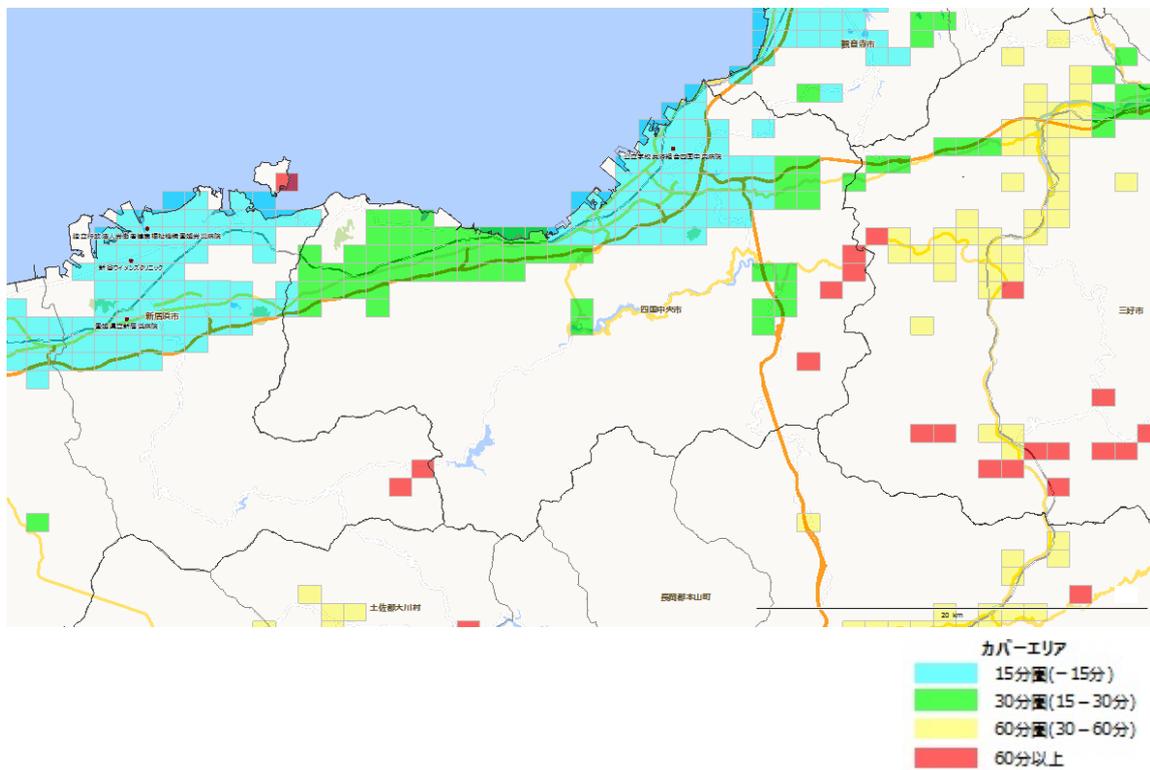
(宇摩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

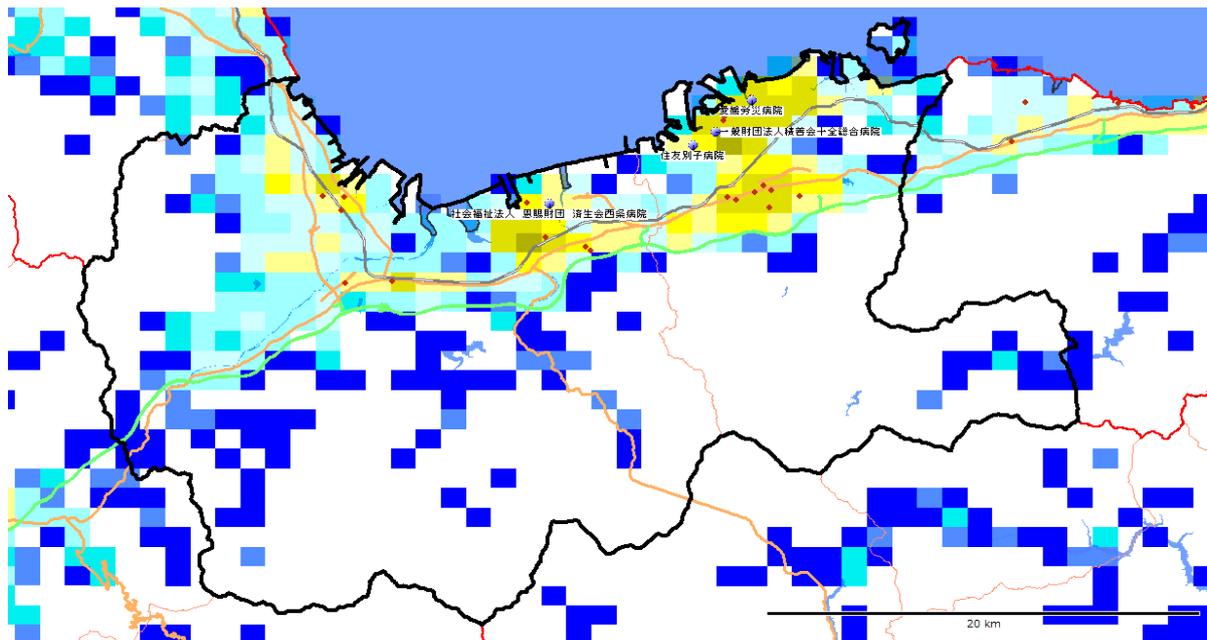


# 38-2. にい は ま さいじょう 新居浜・西条医療圏

構成市区町村 [新居浜市](#) [西条市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

## (新居浜・西条医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 新居浜・西条(新居浜市)は、総人口約228千人(2015年)、面積744km<sup>2</sup>、人口密度は306人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 新居浜・西条の総人口は2025年に214千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に186千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて44千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には43千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 新居浜・西条の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値62)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 新居浜・西条の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は1.95で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。新居浜・西条には、年間全身麻酔件数が500例以上の住友別子病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は63で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 新居浜・西条の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,940人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,344床(偏差値53)、高齢者住宅等が1,596床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,202人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム42、軽費ホーム47、グループホーム71、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、423人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (新居浜・西条医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

新居浜・西条医療圏の総人口は、2005年237,323人が、2015年に228,077人と4%減少し、2025年の人口が213,567人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

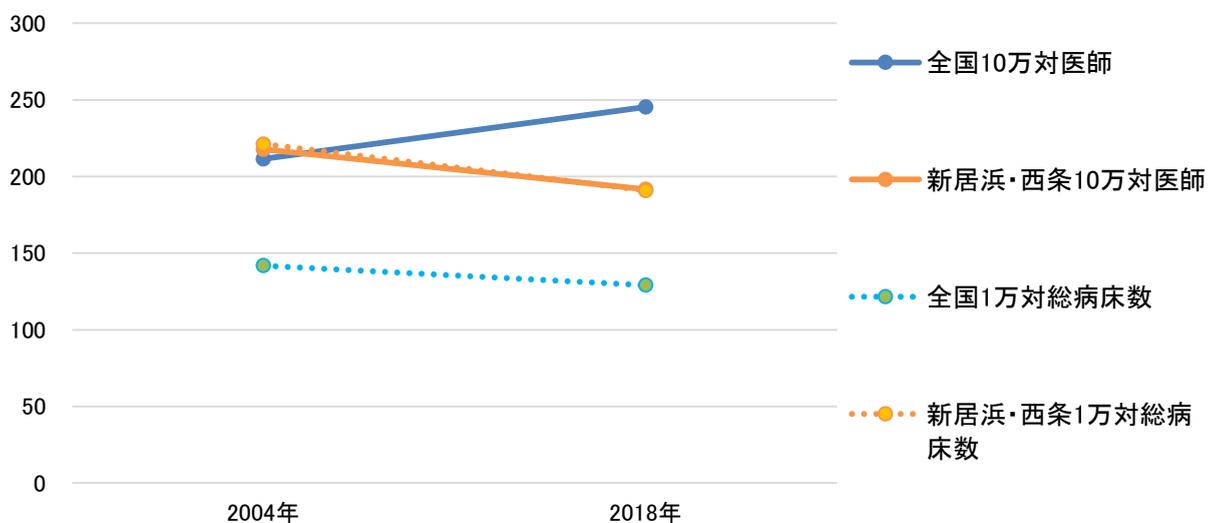
2004年の病院数が22(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に22(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が189(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に179(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,250床(人口1万人当たり221(全国平均142)偏差値64)であったが、2018年に4,354床(人口1万人当たり191(全国平均129)偏差値62)と、896床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

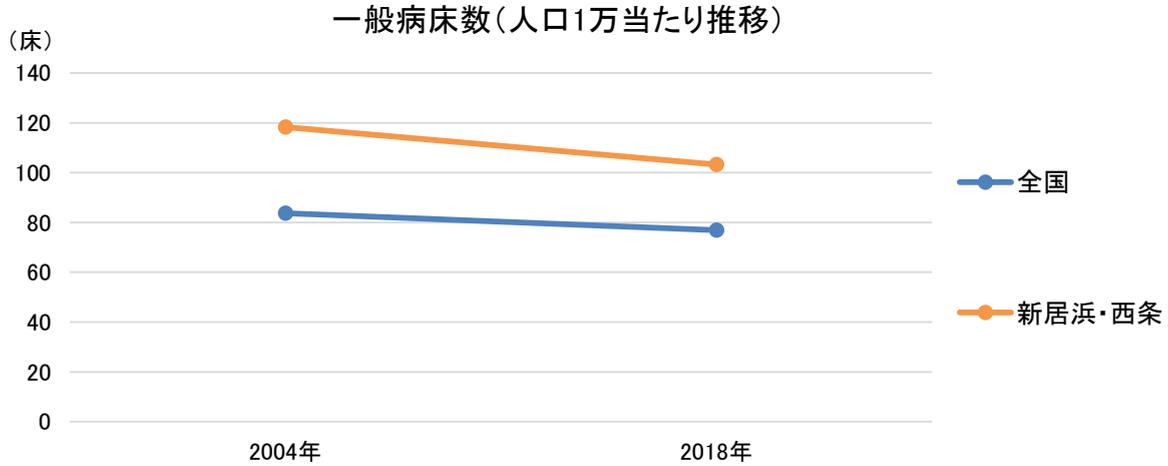
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が517人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に437人(人口10万人当たり192人(全国平均245人)偏差値44)と、80人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



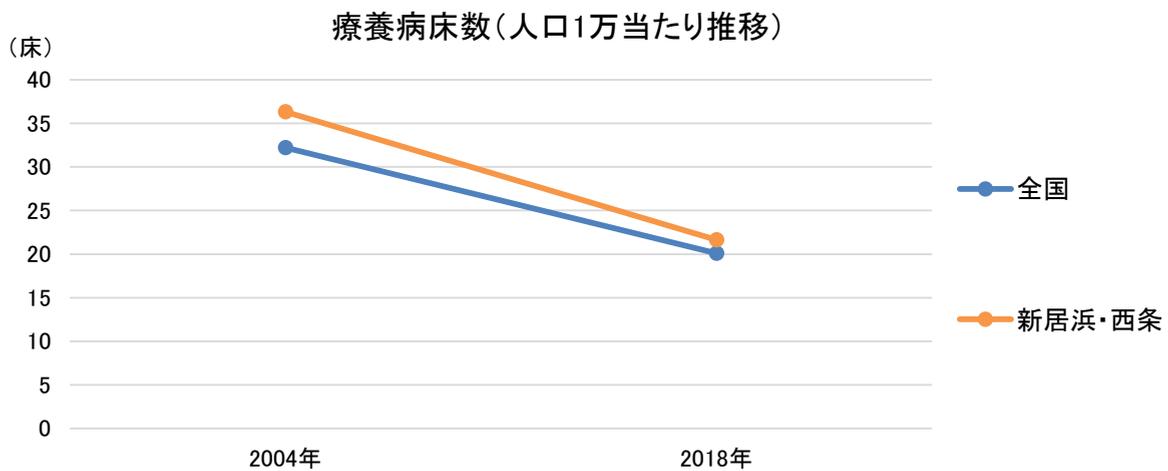
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,807床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2018年に2,356床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、451床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



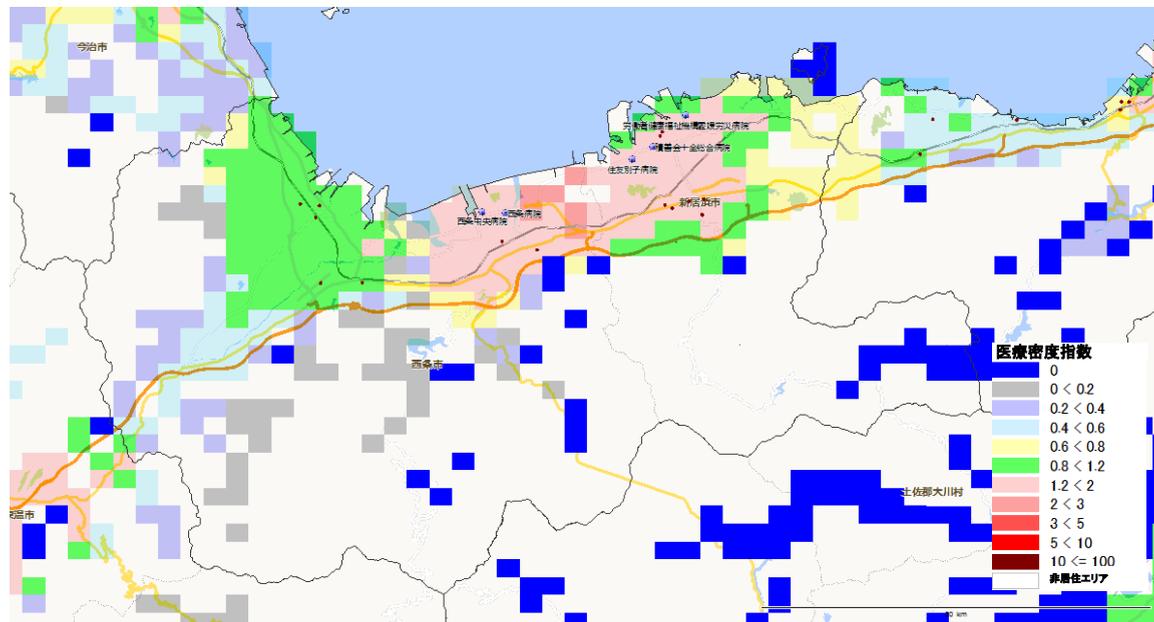
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,055床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2018年に777床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、278床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



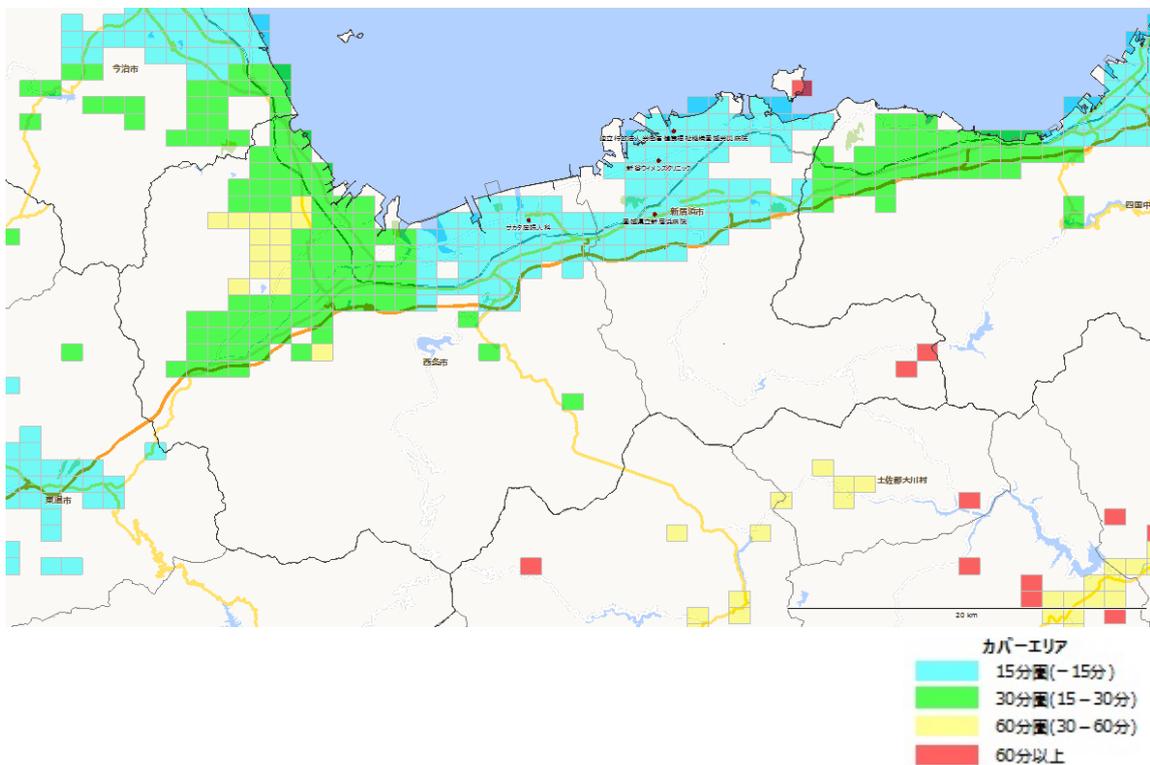
## (新居浜・西条医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

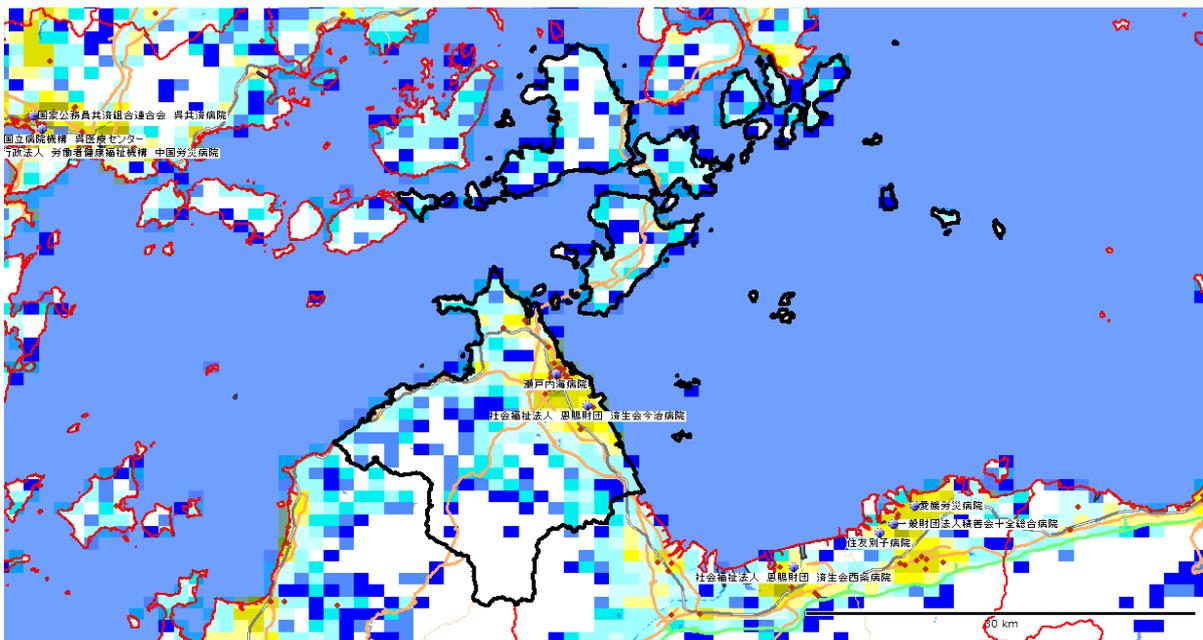


# いまばり 38-3. 今治医療圏

構成市区町村 [今治市](#) [上島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (今治医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 今治(今治市)は、総人口約165千人(2015年)、面積450km<sup>2</sup>、人口密度は368人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 今治の総人口は2025年に145千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に114千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には29千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 今治の一人当たり医療費(国保)は381千円(偏差値56)、介護給付費は273千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 今治の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.34で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数44)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。今治には、年間全身麻酔件数が500例以上の済生会今治病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 今治の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,792人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,838床(偏差値54)、高齢者住宅等が954床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,327人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム40、軽費ホーム58、グループホーム60、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、304人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (今治医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

今治医療圏の総人口は、2005年182,081人が、2015年に165,249人と9%減少し、2025年の人口が145,387人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

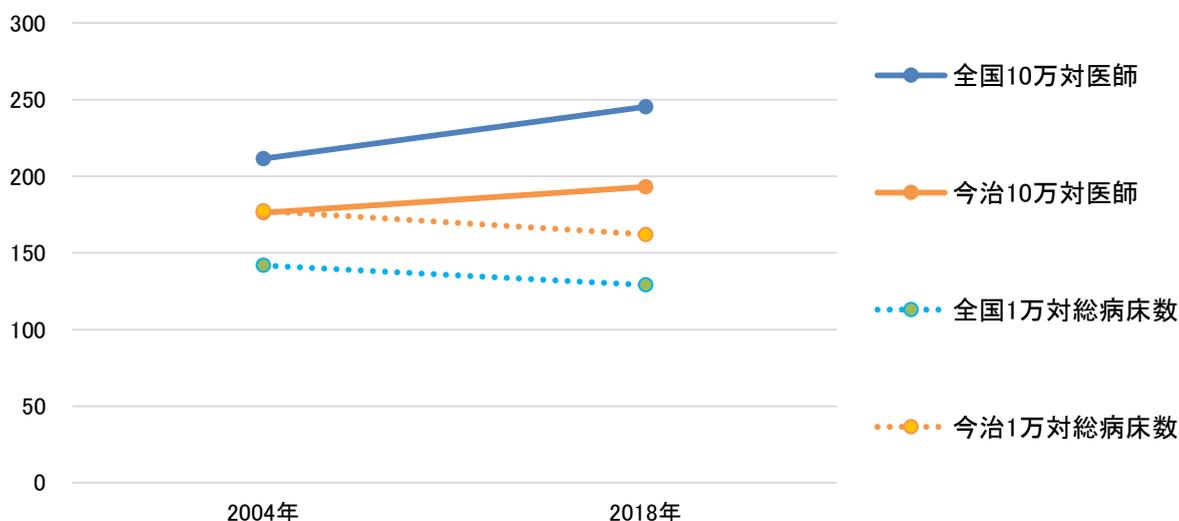
2004年の病院数が33(人口10万人当たり18.1病院(全国平均7.1)偏差値79)であったが、2018年に30(人口10万人当たり18.2病院(全国平均6.6)偏差値79)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が120(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に119(人口10万人当たり72診療所(全国平均80)偏差値46)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,231床(人口1万人当たり177(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に2,677床(人口1万人当たり162(全国平均129)偏差値56)と、554床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

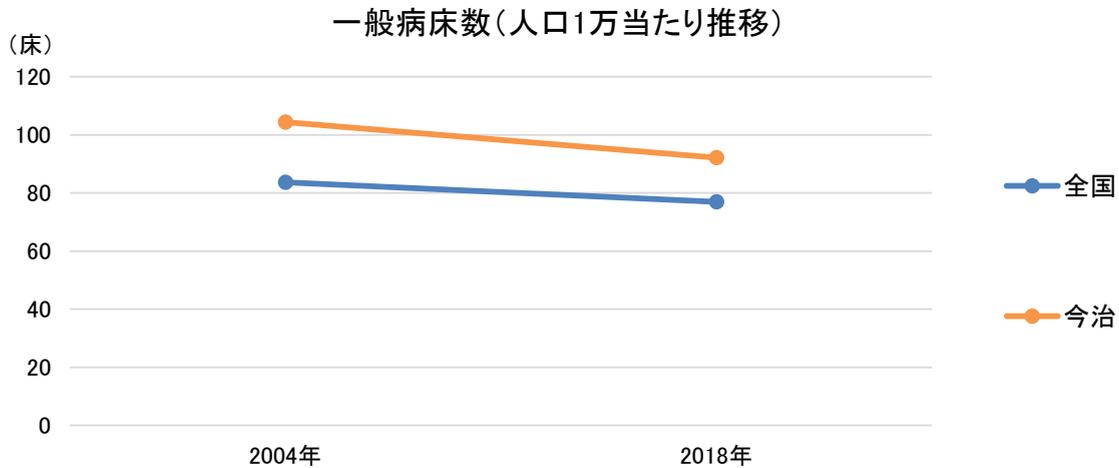
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が321人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に319人(人口10万人当たり193人(全国平均245人)偏差値44)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



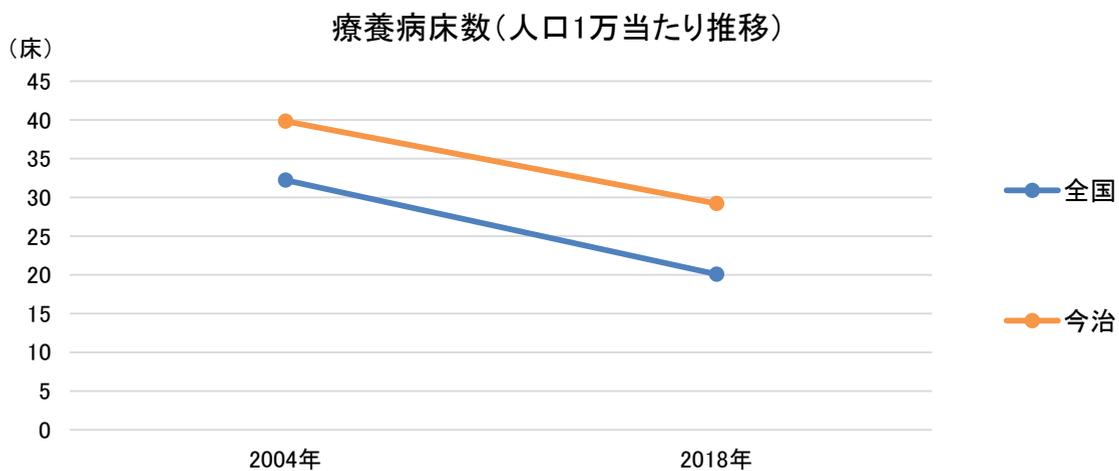
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,900床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に1,522床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、378床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



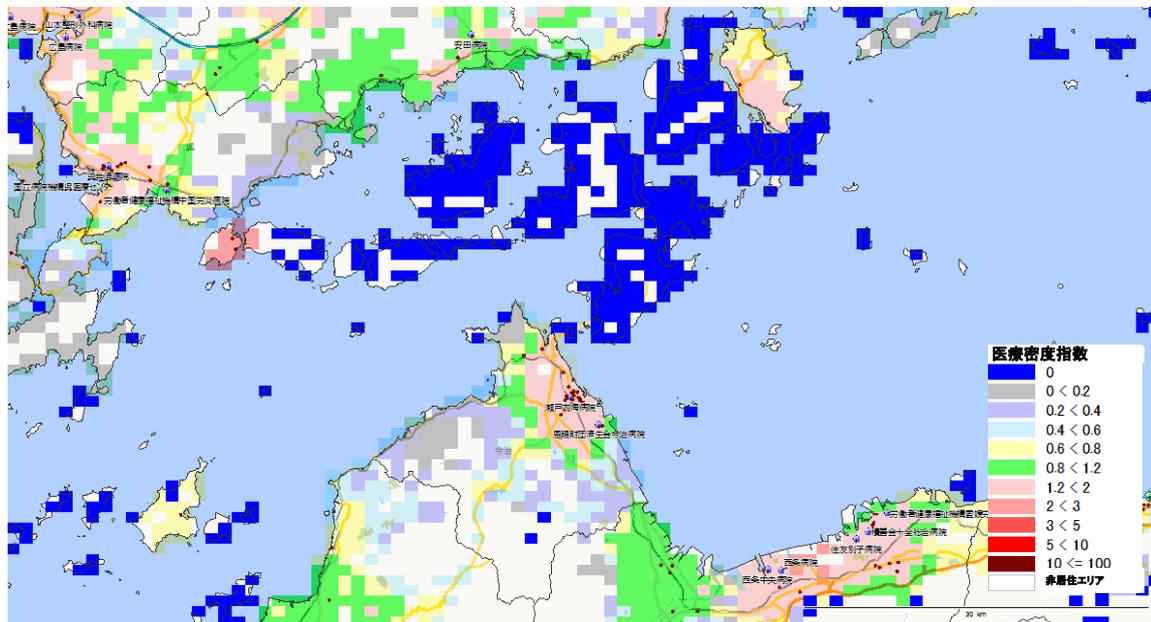
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が934床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2018年に808床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均20)偏差値58)と、126床の減少、率にして13%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



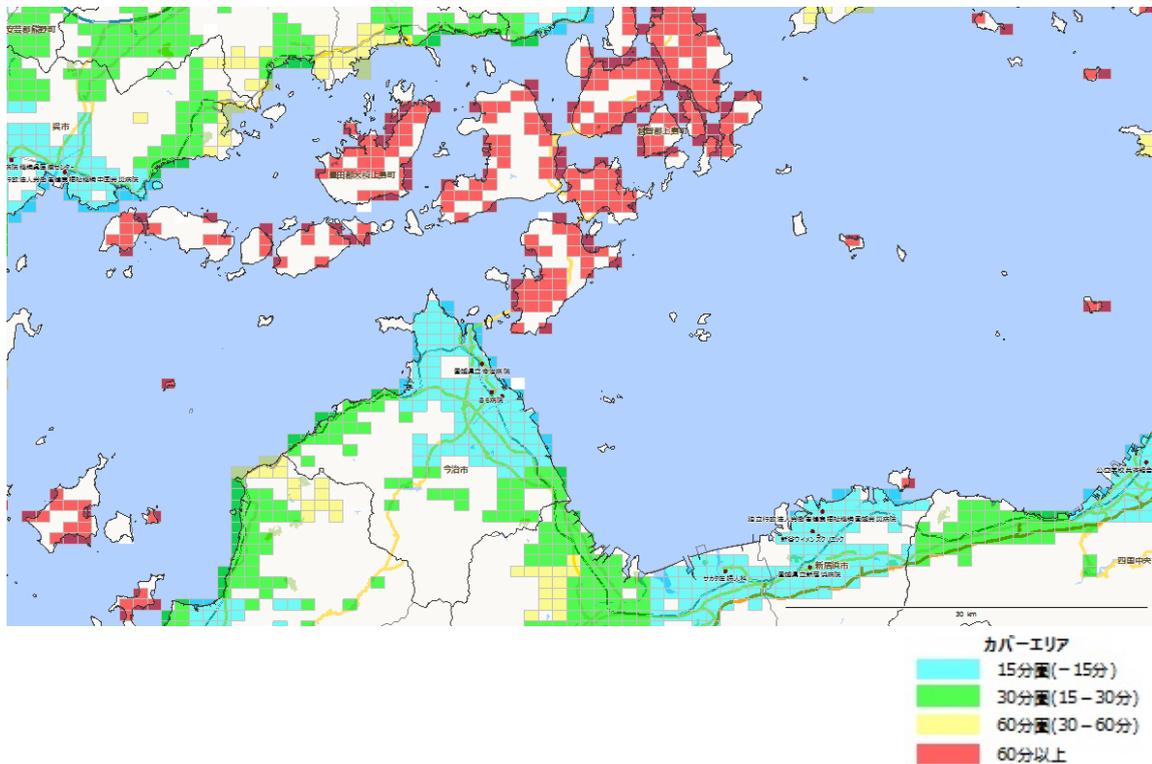
(今治医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

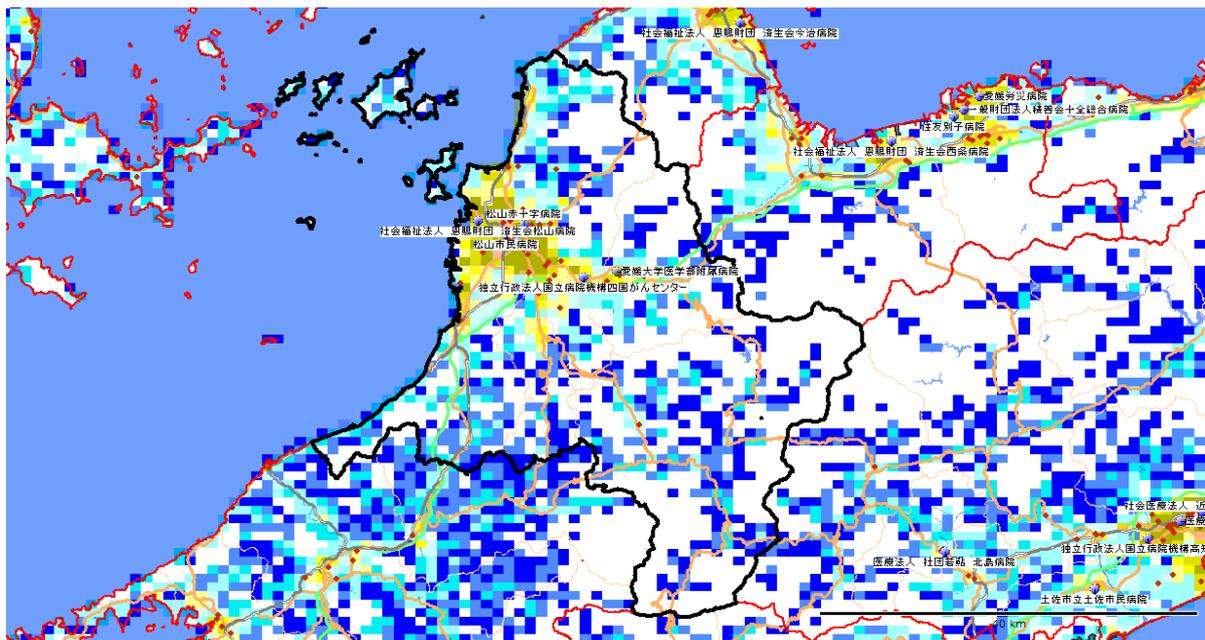


# 38-4. まつやま 松山医療圏

構成市区町村 [松山市](#) [伊予市](#) [東温市](#) [久万高原町](#)  
[松前町](#) [砥部町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (松山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 松山(松山市)は、総人口約646千人(2015年)、面積1,541km<sup>2</sup>、人口密度は419人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 松山の総人口は2025年に621千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に560千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の85千人が、2025年にかけて114千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には124千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 松山の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値57)、介護給付費は292千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 松山の一人当たり急性期医療密度指数は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数は1.98で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が60(病院医師数60、診療所医師数60)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。松山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の松山赤十字病院(Ⅲ群)、愛媛県立中央病院(Ⅱ群・救命)、愛媛大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上のNHO四国がんセンター(Ⅲ群)、500例以上の松山市民病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 松山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,360人(75歳以上1,000人当たりの偏差値73)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,694床(偏差値45)、高齢者住宅等が7,666床(偏差値79)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,167人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム61、軽費ホーム58、グループホーム79、サ高住72である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,527人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (松山医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

松山医療圏の総人口は、2005年653,642人が、2015年に646,055人と1%減少し、2025年の人口が620,887人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

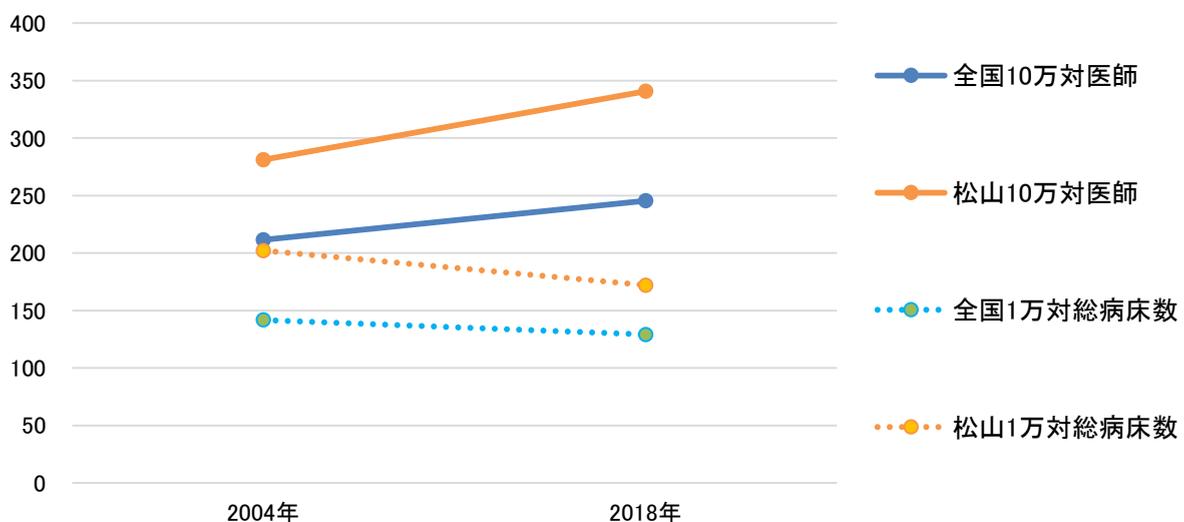
2004年の病院数が58(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2018年に52(人口10万人当たり8病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が531(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に606(人口10万人当たり94診療所(全国平均80)偏差値57)と、75診療所が増加した。

2004年の総病床数が13,213床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に11,111床(人口1万人当たり172(全国平均129)偏差値58)と、2,102床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

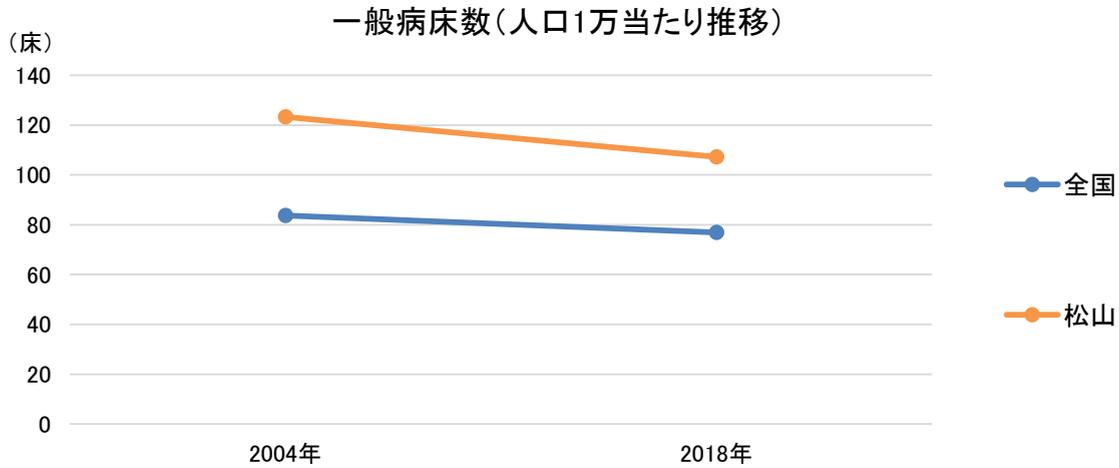
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,838人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2018年に2,201人(人口10万人当たり341人(全国平均245人)偏差値60)と、363人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



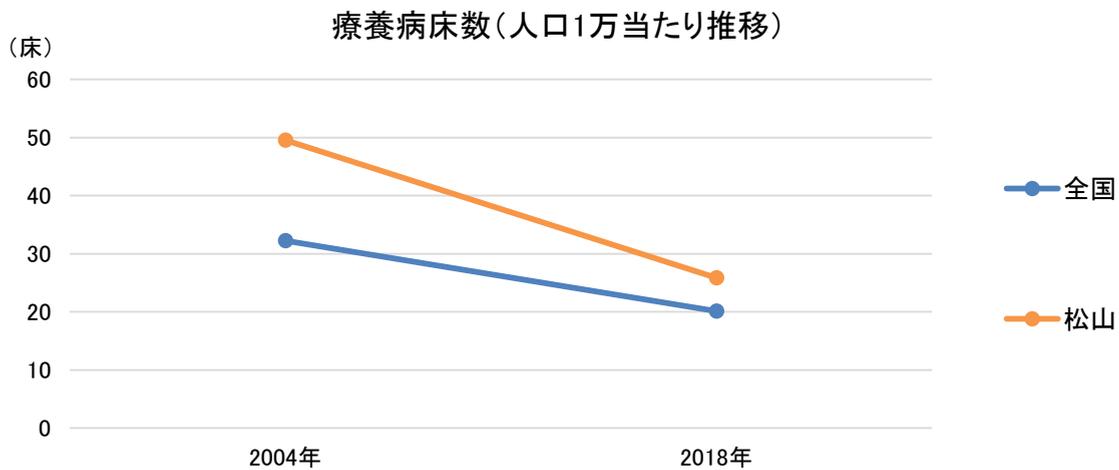
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8,058床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2018年に6,927床(人口1万人当たり107(全国平均77)偏差値62)と、1,131床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



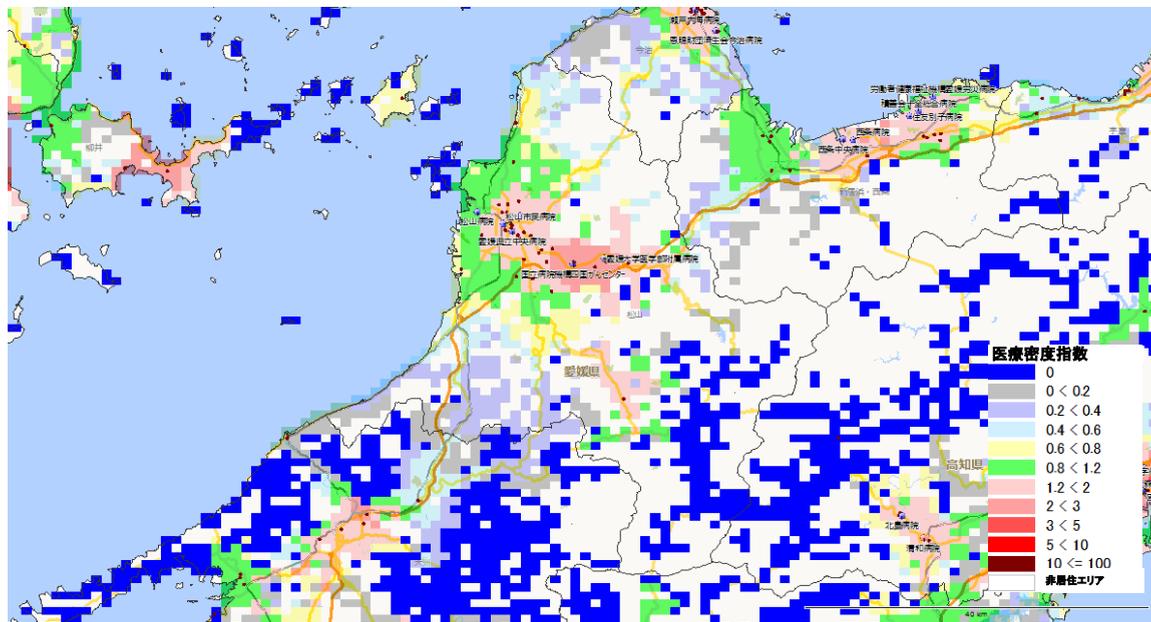
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,098床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2018年に2,208床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均20)偏差値55)と、890床の減少、率にして29%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



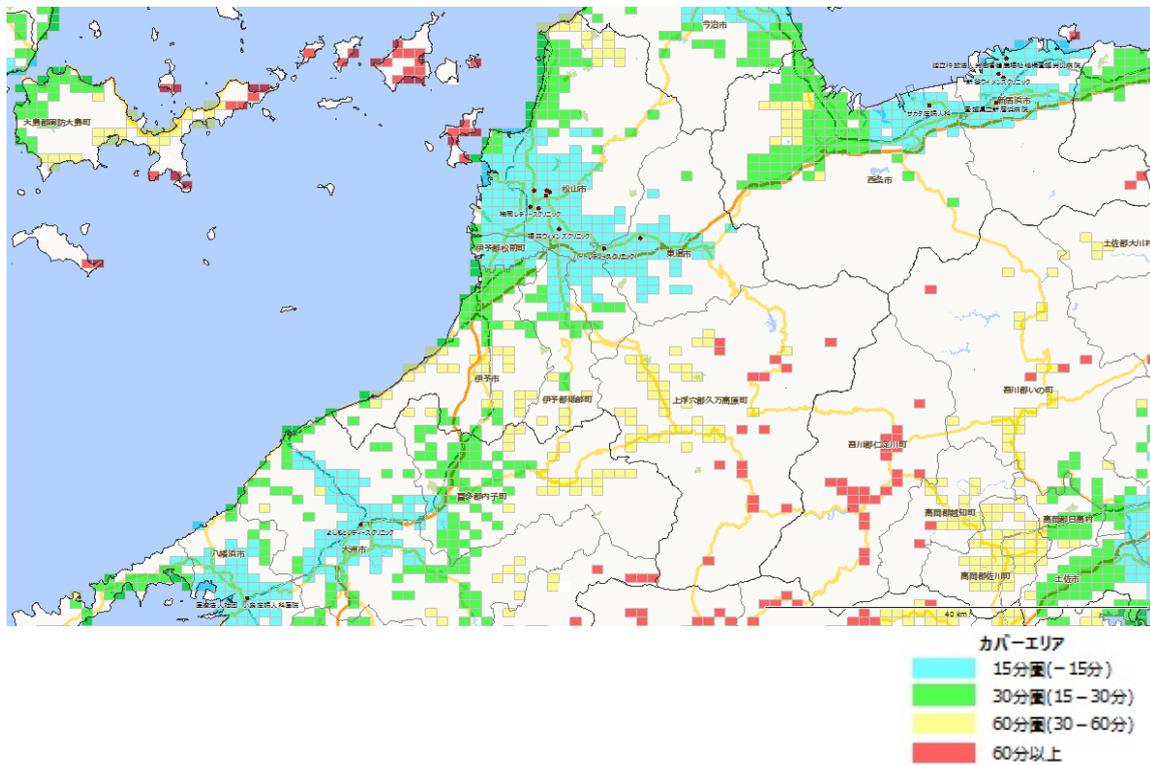
## (松山医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

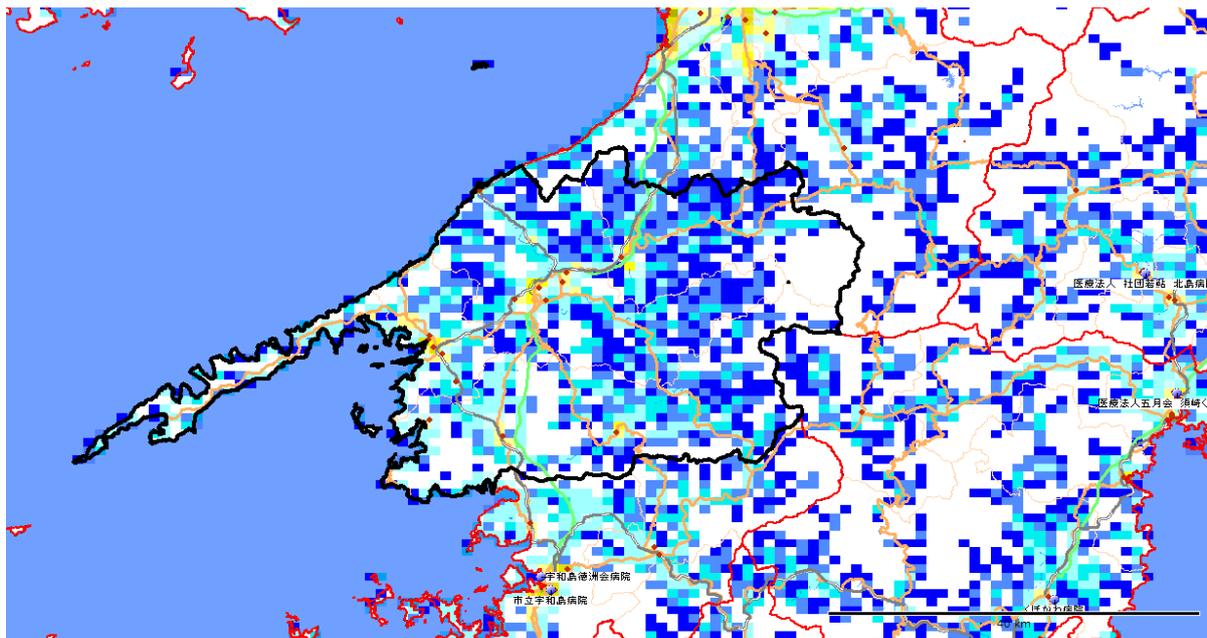


# 38-5. やわたはま おおず 八幡浜・大洲医療圏

構成市区町村 [八幡浜市](#) [大洲市](#) [西予市](#) [内子町](#)  
[伊方町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (八幡浜・大洲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 八幡浜・大洲(八幡浜市)は、総人口約144千人(2015年)、面積1,473km<sup>2</sup>、人口密度は98人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 八幡浜・大洲の総人口は2025年に120千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に87千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 八幡浜・大洲の一人当たり医療費(国保)は389千円(偏差値58)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 八幡浜・大洲の一人当たり急性期医療密度指数は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数40、診療所医師数57)と、総医師数と病院医師数は少ないが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は57と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。八幡浜・大洲には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は69で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 八幡浜・大洲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,253人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,962床(偏差値52)、高齢者住宅等が1,291床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,615人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム44、軽費ホーム52、グループホーム70、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、230人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

## (八幡浜・大洲医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

八幡浜・大洲医療圏の総人口は、2005年168,713人が、2015年に144,324人と14%減少し、2025年の人口が120,111人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

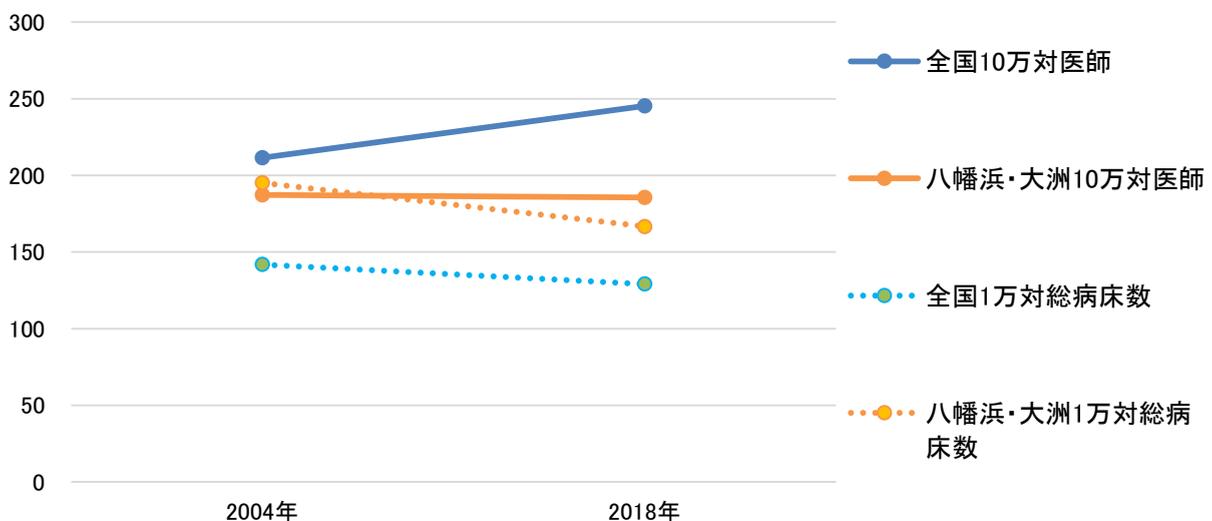
2004年の病院数が19(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に16(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が176(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2018年に167(人口10万人当たり116診療所(全国平均80)偏差値69)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,292床(人口1万人当たり195(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に2,405床(人口1万人当たり167(全国平均129)偏差値57)と、887床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

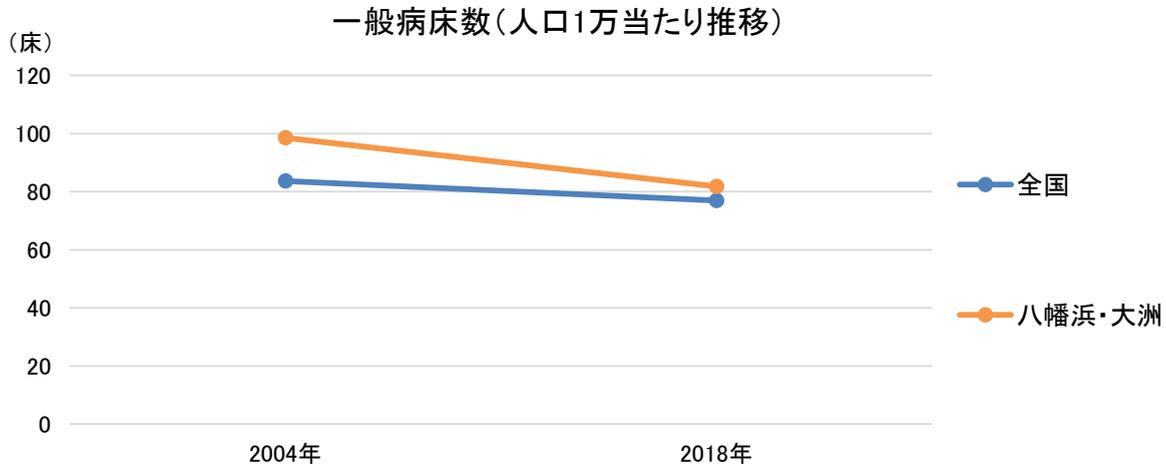
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が316人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に268人(人口10万人当たり186人(全国平均245人)偏差値43)と、48人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



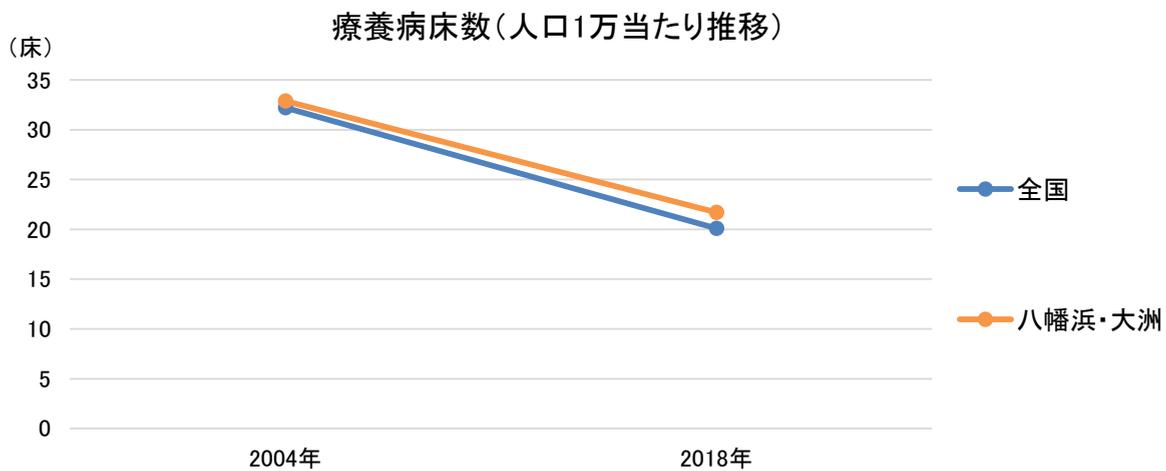
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,663床(人口1万人当たり99(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に1,180床(人口1万人当たり82(全国平均77)偏差値52)と、483床の減少、率にして29%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



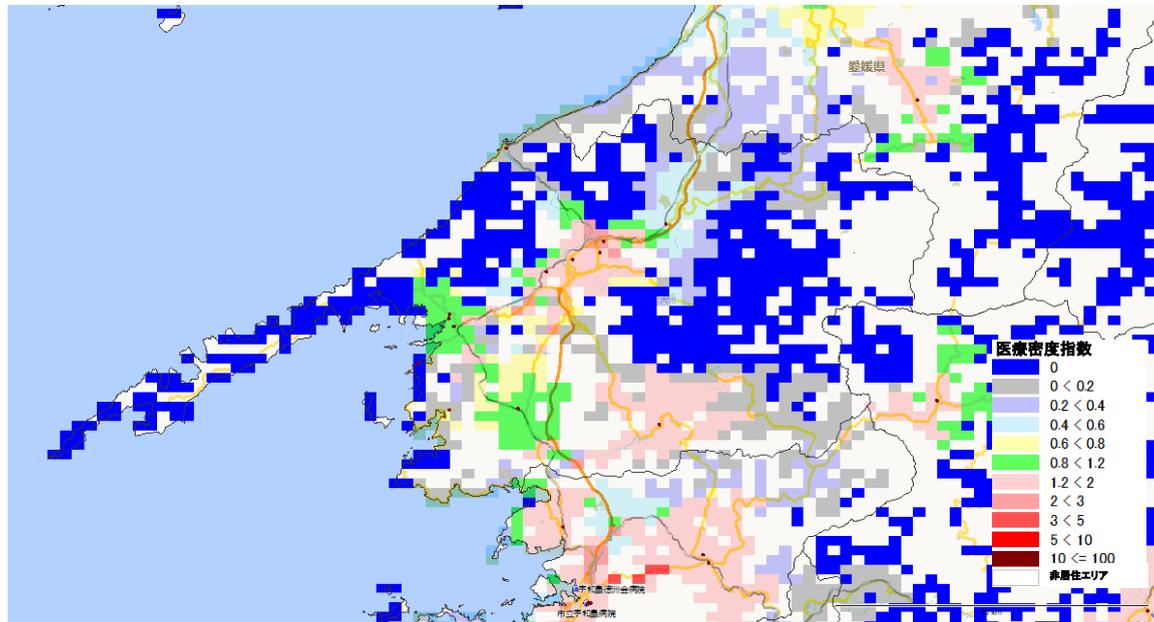
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が914床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2018年に669床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、245床の減少、率にして27%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



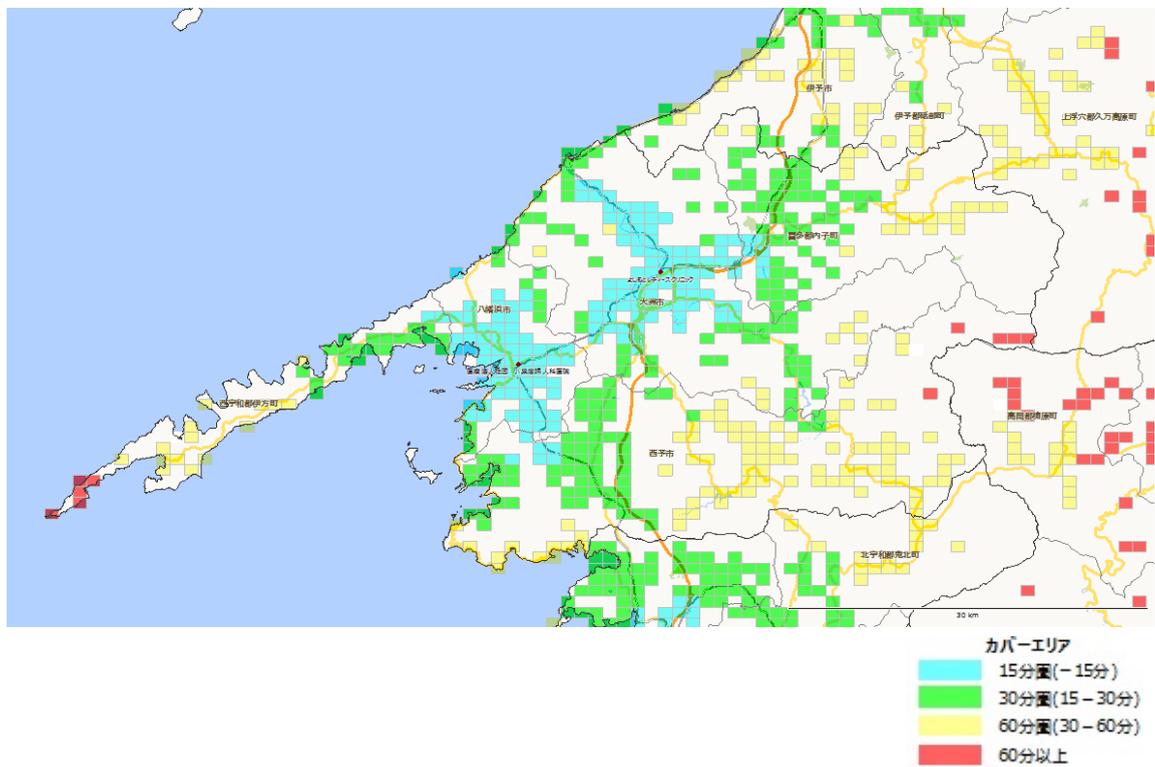
(八幡浜・大洲医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）

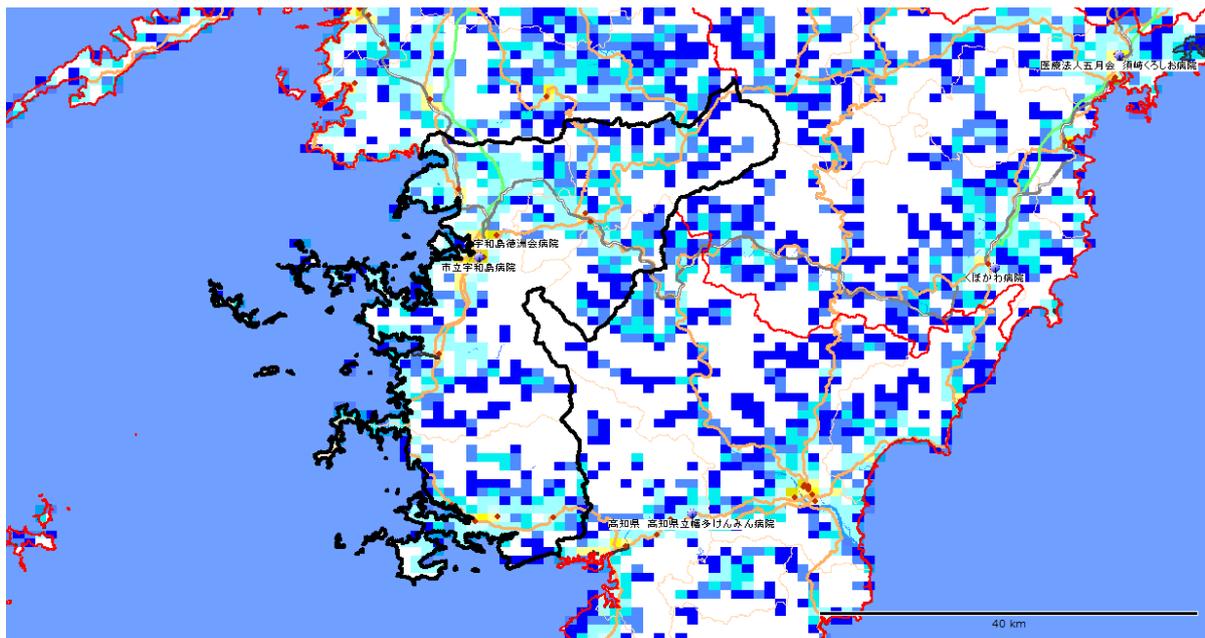


# 38-6. うわじま 宇和島医療圏

構成市区町村 [宇和島市](#) [松野町](#) [鬼北町](#) [愛南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (宇和島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宇和島(宇和島市)は、総人口約114千人(2015年)、面積1,047km<sup>2</sup>、人口密度は109人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宇和島の総人口は2025年に94千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に65千人へと減少する(2025年比-31%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には22千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宇和島の一人当たり医療費(国保)は348千円(偏差値48)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宇和島の一人当たり急性期医療密度指数は1.57、一人当たり慢性期医療密度指数は1.25で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。宇和島には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立宇和島病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宇和島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,337人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,423床(偏差値50)、高齢者住宅等が914床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,855人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、346人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (宇和島医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

宇和島医療圏の総人口は、2005年133,202人が、2015年に114,144人と14%減少し、2025年の人口が93,558人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

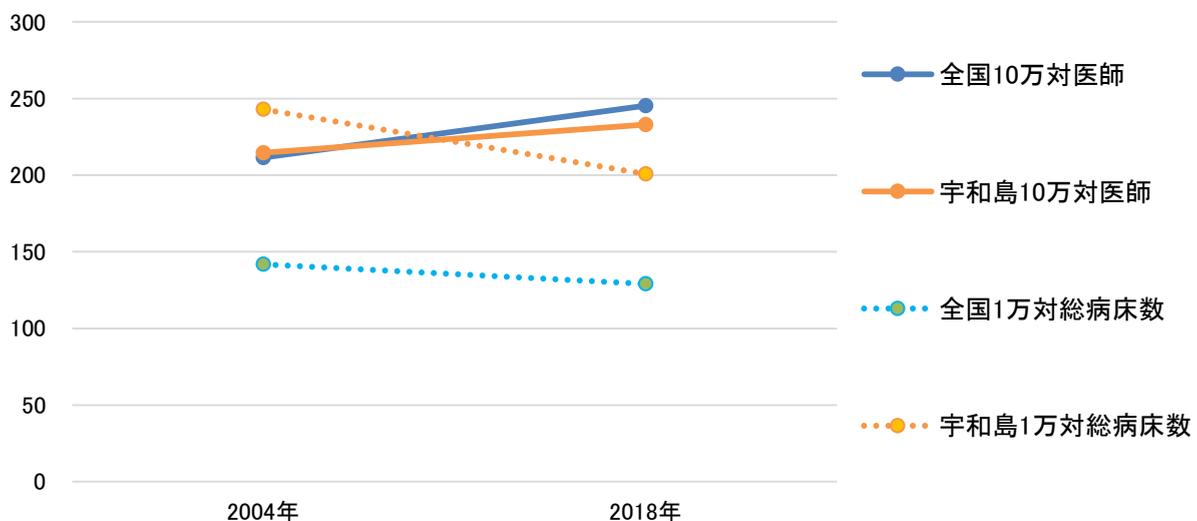
2004年の病院数が14(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2018年に12(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり102診療所(全国平均76)偏差値63)であったが、2018年に118(人口10万人当たり103診療所(全国平均80)偏差値62)と、18診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,237床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2018年に2,292床(人口1万人当たり201(全国平均129)偏差値64)と、945床の減少、率にして29%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

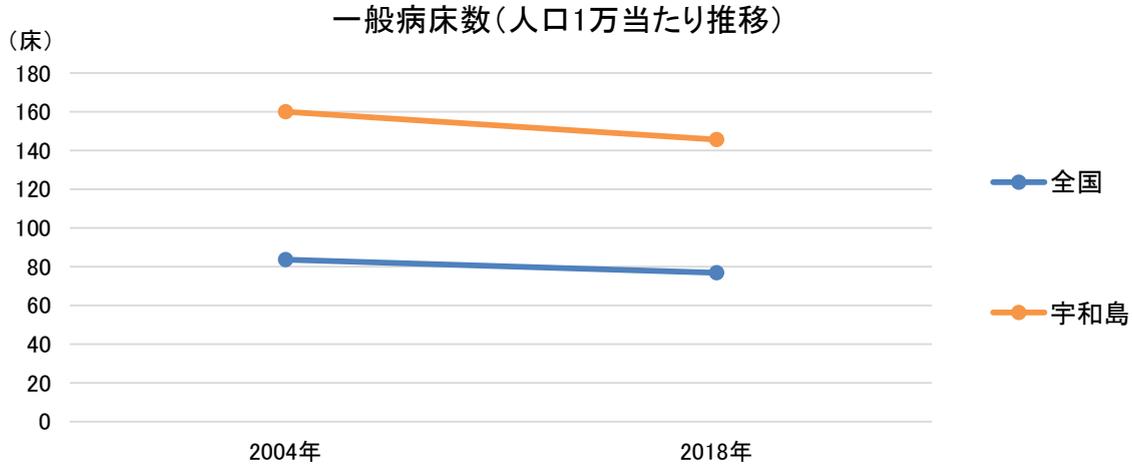
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が286人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2018年に266人(人口10万人当たり233人(全国平均245人)偏差値49)と、20人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



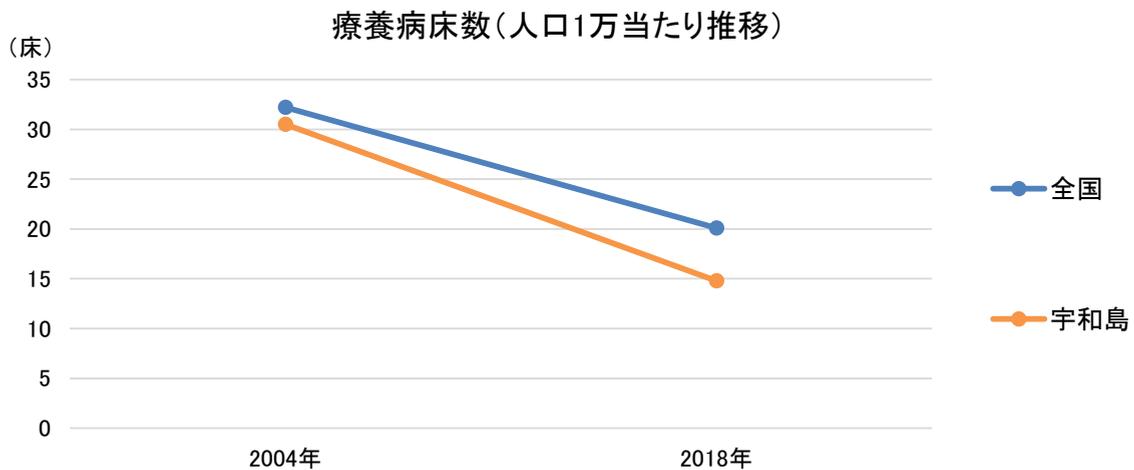
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,132床(人口1万人当たり160(全国平均84)偏差値77)であったが、2018年に1,662床(人口1万人当たり146(全国平均77)偏差値77)と、470床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



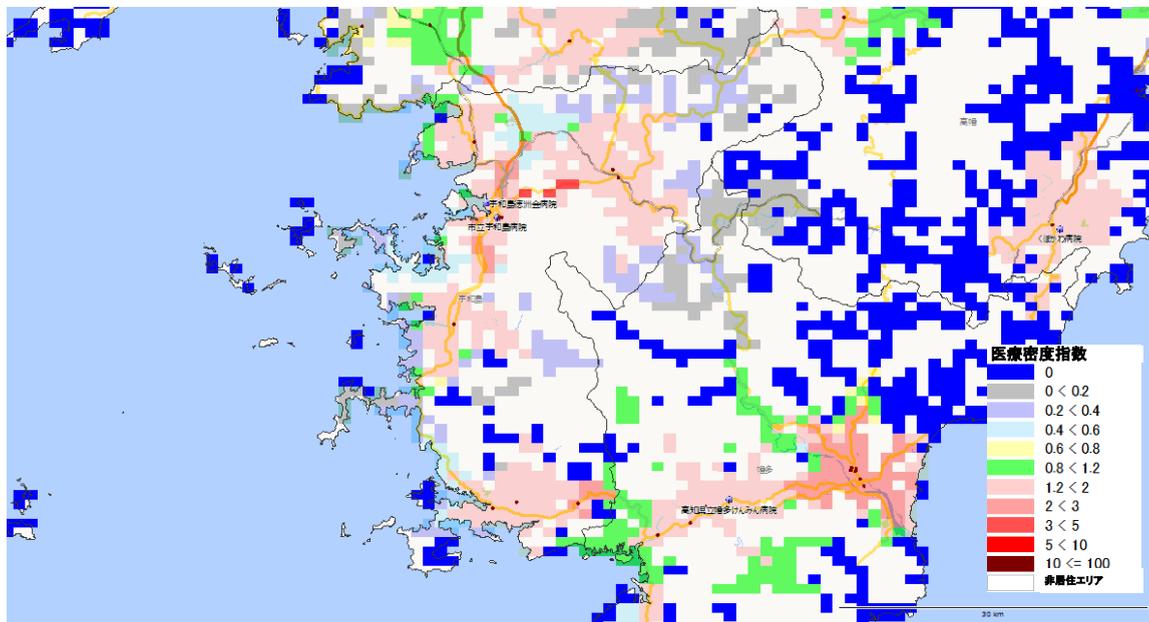
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が616床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均32)偏差値49)であったが、2018年に343床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、273床の減少、率にして44%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



## (宇和島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

